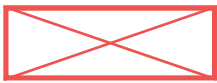


教育研究棟ほかLED照明器具更新工事

図 面 目 録

図面番号	図 面 名 称	縮 尺	図面番号	図 面 名 称	縮 尺
E-00	図面目録	—	E-11	照明制御方式一覧、照明器具参考姿図（実験実習棟）	—
E-01	電気設備工事 特記仕様書（1）	—	E-12	平面図（実験実習棟）	S=1/150
E-02	電気設備工事 特記仕様書（2）	—	E-13	高天井照明 平面図（実験実習棟）	S=1/150
E-03	配置図、付近見取図	S=1/1500	E-14	足場 参考図（実験実習棟）	S=1/100
E-04	1・2・3階照明制御方式一覧（教育研究棟）	—	E-15	平面図、照明制御方式一覧（サステナビリティ研究所）	S=1/100
E-05	4・5階照明制御方式一覧、照明器具参考姿図（教育研究棟）	—			
E-06	1階平面図（教育研究棟）	S=1/150・200			
E-07	2階平面図（教育研究棟）	S=1/150・200			
E-08	3階平面図（教育研究棟）	S=1/200			
E-09	4階平面図（教育研究棟）	S=1/200			
E-10	5階平面図（教育研究棟）	S=1/200			



取りやめ



19

工事用資材物

16

土工事

17

電線類

18

電線不収・管路等

19

低圧電線管の溶融熔接メッキ

20

露出配管の塗装

21

波付硬質合成樹脂管 (FPI)

22

フラッシュプレートの材質

23

カバープレートの用途別表示

24

地中箱

25

計費施工

26

接地極

27

屋上、屋側の支柱金物等

28

結露防止

29

アスベスト含有建材の処理

構内につくることができない

埋の質し土
※ 標切土の中の良質土
● 山砂の類 () ● 真砂土 ()
※ 横外に露出し適切に処理
※ 構内敷きならし
● 構内の指示する場所に埋積
本工事では環境配慮の観点から、原則としてEIMケーブルを使用するものとする。
EIM電線類で規格等の定めのないものはハロゲン及び鉛を含まない材料で構成されたものとする。
通信ケーブルでJIS規格にない対数のケーブルはJIS規格に準じたものとする。
壁内配線はEIM電線を使用する。ただし、製造者標準品と特記したものを除く。
ハーネスジョイントボックス用OAケーブルのケーブルはハロゲン及び鉛を含まない材料とする。
分電盤、制御盤、端子盤などの2次側以降の配線経路、電線束、電線不収、管径などは監督職員の承認を受けて変更してもさしつかえない。
メッキ付着量 300g/m²以上とする。(※ 屋外 ●)
塗装する部分 ● 屋蓋、廊下等 ● 埋積土 ● 壁外 ●
波付硬質合成樹脂管 (FPI) を使用する場合は不燃又は難燃性とする。
● 金属製 (ステンレス、新金属も含む) ● 樹脂製
シール等を貼付する。
蓋の記号表示は側面流込み (鳥取県又は鳥取県東、及び用途を記入) とし、ハンドホール内のケーブル支持等はマンホールに準じて行う。
設備機器の固定は「官庁施設の総合計費計画基準及び関係図」(平成8年版・建設大臣官庁官庁設備部監修)によることとし、施工は「建築設備設計・施工指針2014年版」(国土交通省国土技術政策総合研究所・独立行政法人建築研究所監修)による。
1) 設計用水平地震力
機器の重量[kN]に、設計用標準水平震度を乗じたものとする。なお、特記なき場合、設計用標準水平震度は、次による。

設計用標準水平震度		● 特定の施設		● 一般の施設	
設置場所	機器種別	重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上層階注・屋上及び塔等	機器	2.0	1.5	1.0	
	防振支持の機器		2.0	1.5	
	水 槽 類		1.5	1.0	
中間階	機器	1.5	1.0	0.6	
	防振支持の機器		1.5	1.0	
	水 槽 類		1.0	0.6	
地下及び1階	機器	1.0	0.6	0.4	
	防振支持の機器		1.0	0.6	
	水 槽 類		1.5	1.0	0.6

(注) 上層階の定義は次による。
2～4階建: 最上階、7～9階建: 上層2階、10～12階建: 上層3階、13階以上: 上層4階
重要機器 (● 配電盤 ● 非常用発電装置 ● 交換機 ● 直流電源装置 ● UPS装置 ● 火災感知受信機 ● 中央監視制御装置 ●)
2) 設計用鉛直地震力
設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。
接地極の材料は次による。

接地の種類	記 号	接地抵抗値	接 地 極
● 共同接地	E A E D	10Ω以下	E B×3連～2組
● 共同接地	E A E C E D	10Ω以下	E B×3連～2組
● A種	E A	10Ω以下	E B×3連～2組
● B種	E B	Ω以下	E B×2連～2組
● C種	E C	10Ω以下	E B×3連～2組
● D種	E D	100Ω以下	E B×1
● 雷保護設備用	E L A	Ω以下	● EP-0.6×2 ● EB×連一組
● 交換機用	E L H	10Ω以下	E B×3連～2組
● 通信用	E A t	10Ω以下	E B×3連～2組
● 通信用	E D t 及び E D a	100Ω以下	E B×1
● 電話引込口の保安器用	E L t	100Ω以下	E B×1
● 測定用	E a	—	E B×1

(連続又は重複の場合、E BはD=14 L=1500 または W=40 L=1200とする)
(測定用の場合、E BはD=10 L=1500 または W=30 L=1200とする)
ステンレス製または鋼材に防錆処理を施したものとする。
外壁に面する壁、スラブ等ひ打ちこみとなる位置ボックスは保温、結露防止処理を行う。
建築改修標準仕様書 0章 環境配慮改修工事 1章 アスベスト含有建材の処理工事による。
処理を行うアスベスト含有建材の仕様等

建材の内容・箇所	仕様等	処理を行う範囲

※ 県有施設の新築改修等に係る施工業者の登録制度による登録業者を指定するものとする。
※ 官公署その他への手続きは、建築改修標準仕様書によるほか、労働安全衛生法、大気汚染防止法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、石綿被害予防規制、鳥獣害石綿健康被害防止条例等の関係法令に基づいて必要な手続きを行う。
● 施工調査 (分析によるアスベスト含有建材の調査) を行う。
分析方法はJIS A 1481「建材製品中のアスベスト含有率測定方法」による。
● アスベスト粉じん濃度測定を行う。
(測定時期: 測定場所: 測定点:)
● 洗浄設備 (洗剤、うがいの設備) 及び更衣設備等を設ける。
● 作業場の養生として、処理場所をプラスチックシート等で囲い、外部への粉じん飛散を防止する。
対象箇所 ()

30

補修など

31

はつり

32

はつり工事における音破壊検査

33

あと施工アンカー

34

室内空気中の化学物質の濃度測定

35

火災保険等

36

鳥取県公共事業環境配慮指針

37

建築物省エネ法

1

照明器具

2

一般照明の照度測定

3

非常用照明の照度測定

4

照明制御の照度測定等

1

機器への接続

2

入線抵抗率の測定

3

外部雷保護設備接地システム

1

変圧器移動車軸

2

デマンド監視装置

3

盤内照明

1

交流無停電電源装置 (UPS)

1

自家発電装置

2

太陽光発電装置

3

風力発電装置

1

交換機

2

保安器用接地

3

雷付電話機との接続

4

回線数

5

電話機

6

電話機への配線

1

マルチサイン装置

2

出遊表示装置

3

時刻表示装置

1

プロジェクト

8

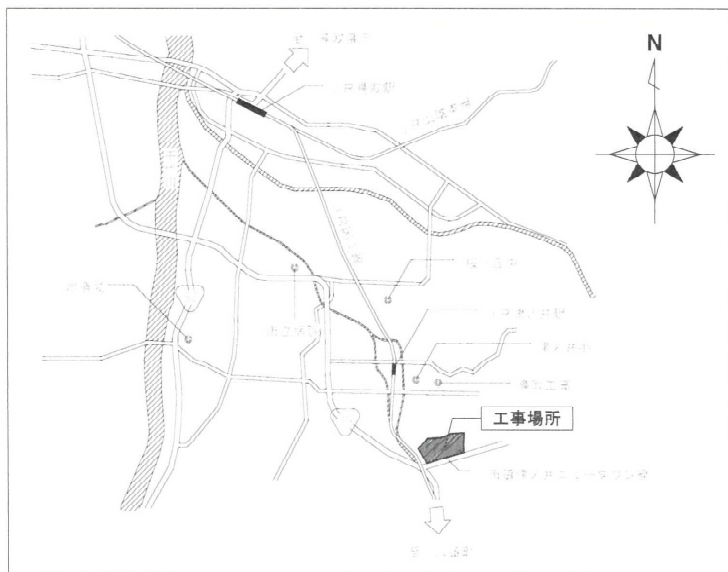
通信設備

9

映像監視設備

工事の施工に伴い既存部分を汚染又は損傷した場合は、既述にない補修する。
既存のコンクリート床・壁などの配管員通部の穴あけは、原則としてダイヤモンドカッターによる。
検査方法 ※電導誘導式 ● 放射線透過検査 ●
1) 施工後確認試験 ※ 行わない ● 行う
試験方法 引線試験機による引線試験
確認強度 対象機器ごとのアンカー ボルト1本に作用する引抜き力以上
試験箇所数 1施工単位に対し1本以上
対象機器 ● 配電盤 ● 発電装置 ● 直流電源装置 ● 太陽光発電装置
実施する。
工事目的物及び工事材料等工事施工中の事故に伴う損害を補てんするため火災保険等に参加する。
(保険の加入期間は、工事完了引渡しまで〔概ね工期+21日〕とする。)
※ 対象工事
※ 対象工事
1) L E Dの光源色は別図面に指定がある場合を除き下記による。
L E Dの光源色 (※別図による) ● 暖白色 ● 電球色)
測定結果を監督職員に提出する。(測定箇所等は、監督職員の指示による。)
● 設置した各部屋と並列以上 ●
明るさセンサーによる照明制御を行う部屋は照度測定を行い測定結果を監督職員に提出する。なお、測定箇所は監督職員の指示による。
照度測定時期 100%点灯時 (※ 夜間 ● 昼間)
調光制御点灯時 (※ 夜間 ● 昼間)
※ 電動機などへの接続は本工事とする。 ● 別途工事
● 工事着手前に大地抵抗率を測定し、測定表及び接地極省略判定記録書を監督職員に提出する。
● 構造体利用接地極 ● A型接地極 ● D型接地極
75kVA以上に取付。
● 本工事 ● 別途工事
前・後に設置する。
停電補償時間 (分)
方式 (● 常時インバータ給電方式 ● ラインインタラクティブ方式 ● 常時商用給電方式)
運転時間 (h) 系統連系 (● 高圧連系 ● 高圧受電低圧みなし連系 ● 低圧連系 ● 無)
出力 (kW) 配電盤外箱 (● 有 ● 無)
保安装置 (重故障項目特記 ● 有 ● 無) 外部用端子 (● 要 ● 不要)
減圧水櫃及び初期注水機材質 (● 鋼板製 ● ステンレス鋼板製)
オイルタンク (● 地下 ● 屋内)
据付: 機械設備工事標準図 (● 施工03、02 (タンク室無し) ● 施工31、33 (タンク室有り))
燃料小出槽 (注) : 送油ポンプのあるシステムでフロートスイッチの上限フロートは過満時検点とする。
材質 (● 鋼板製 ● ステンレス製)
燃料油等 (● 灯油 ● 軽油 ● 重油 ● 燃料ガス ())
換気系統配管耐熱材の厚さ (mm) ばい煙測定口 (● 設ける ● 設けない)
排気ガスに含まれる窒素酸化物 (以下) 運転音 (d B以下)
系統連系 (● 高圧連系 ● 高圧受電低圧みなし連系 ● 低圧連系 ● 無)
公称最大出力 (kW) 耐風速 (m/s)
パワーコンディショナ (相 線式 V) 定格容量 (kW)<

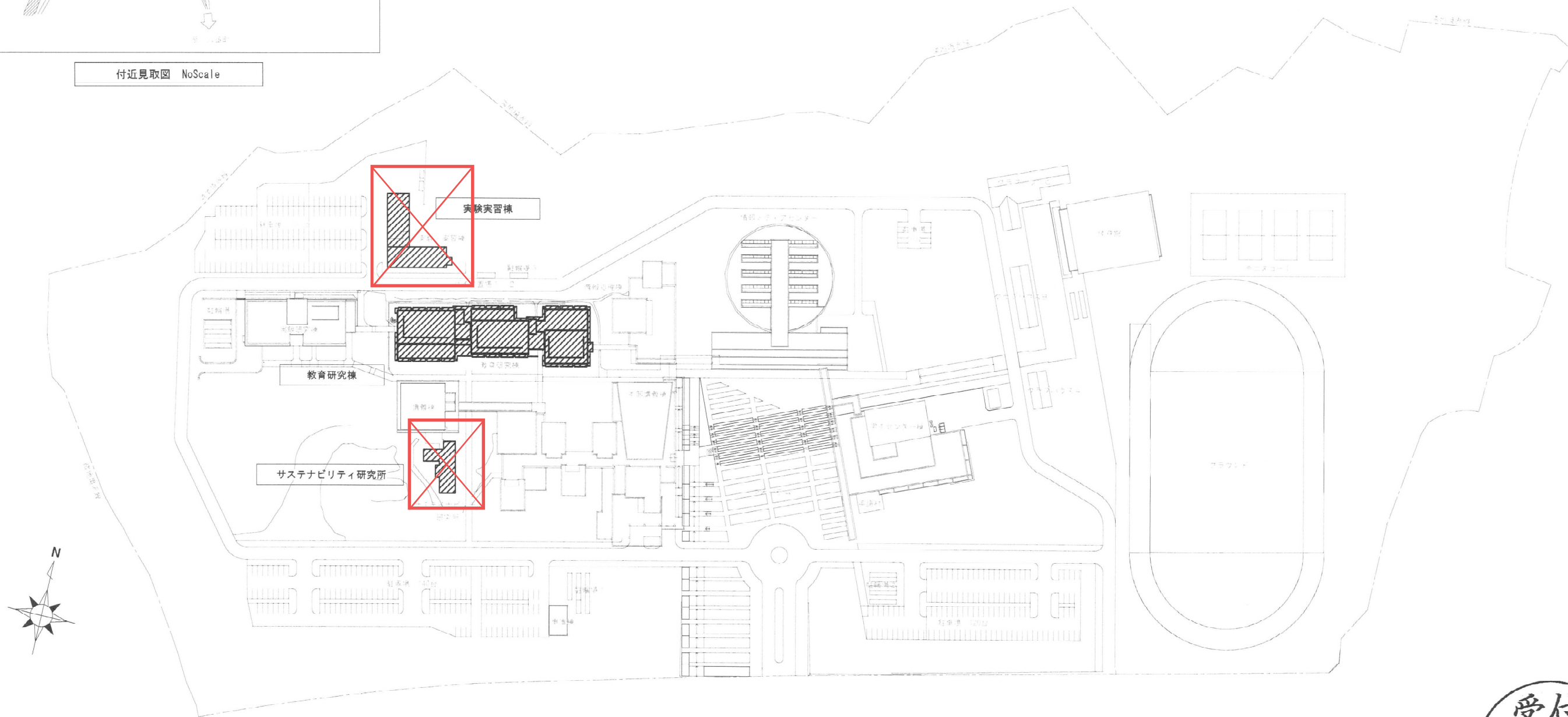
「建高」
受付
'24. 8. - 8
公立鳥取環境大学



付近見取図 NoScale

工事概要

- 下記に記載の棟について既設照明器具をLED照明器具に更新する
・教育研究棟
~~実験実習棟~~
~~サステナビリティ研究所~~
- 1に伴う配管配線更新その他付随する工事



配置図 S=1/1500

 : 対象箇所



Living Environment Technology		CHECK		DRAW		TITLE		DATE		NO.	
株式会社 LET		鳥取県知事登録 一級建築士登録 建築設備士登録		鳥取県知事登録 一級建築士登録 建築設備士登録		教育研究棟ほかLED照明器具更新工事		2024. 08		E 03	
一級建築士事務所／建築設備設計事務所		第04-1348号 第103826号 第24F1-0044NO号		第04-1348号 第103826号 第24F1-0044NO号		配置図、付近見取図		SCALE 1/1500 (A2) 1/2113 (A3)		15	

部屋毎の改修内容（概略）

照明器具の更新
+照度センサ追加

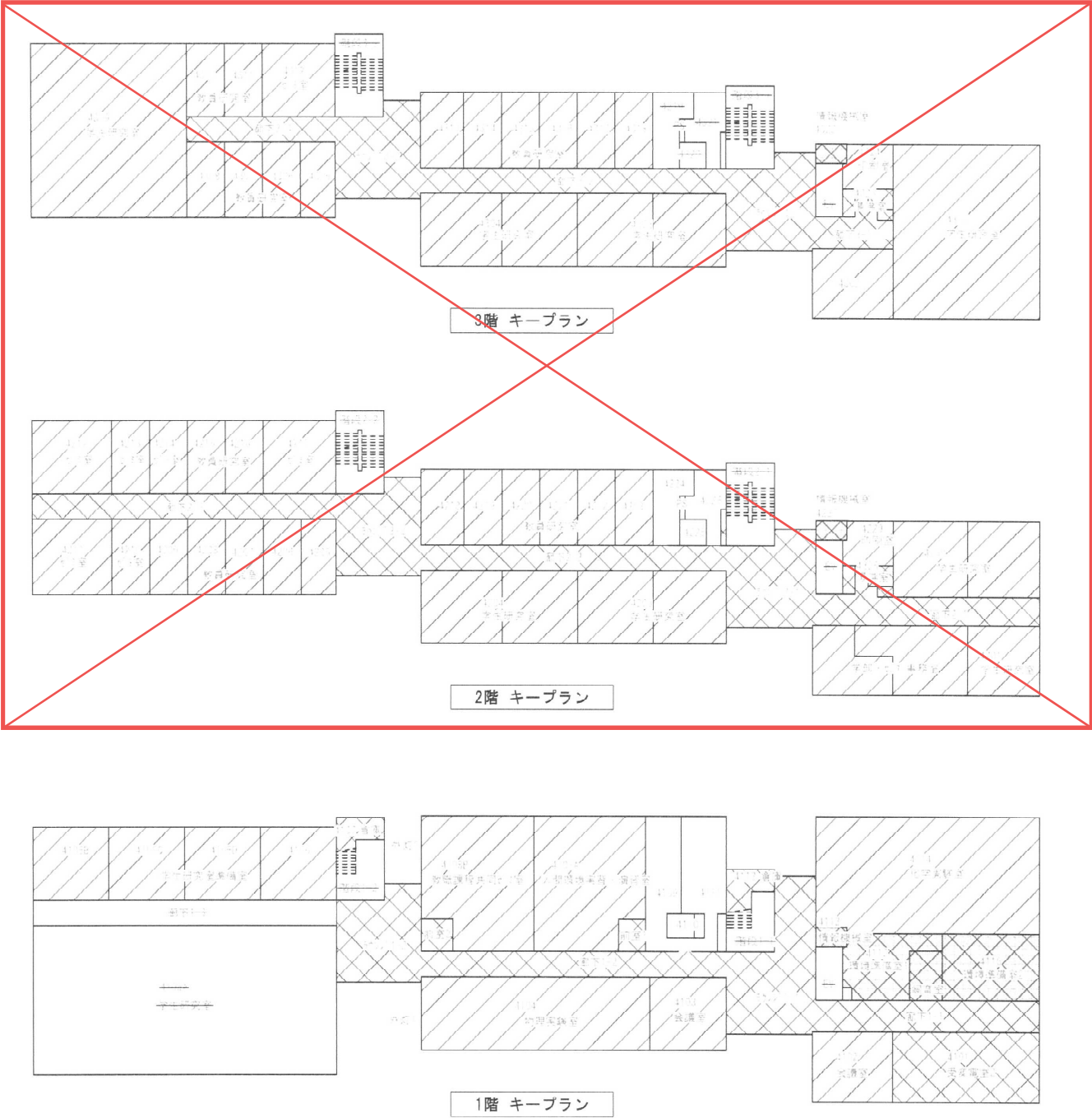
照明器具の更新
+人感センサ追加

照明器具の更新のみ

照明器具（照度センサ付）の更新

照明器具（人感センサ付）の更新

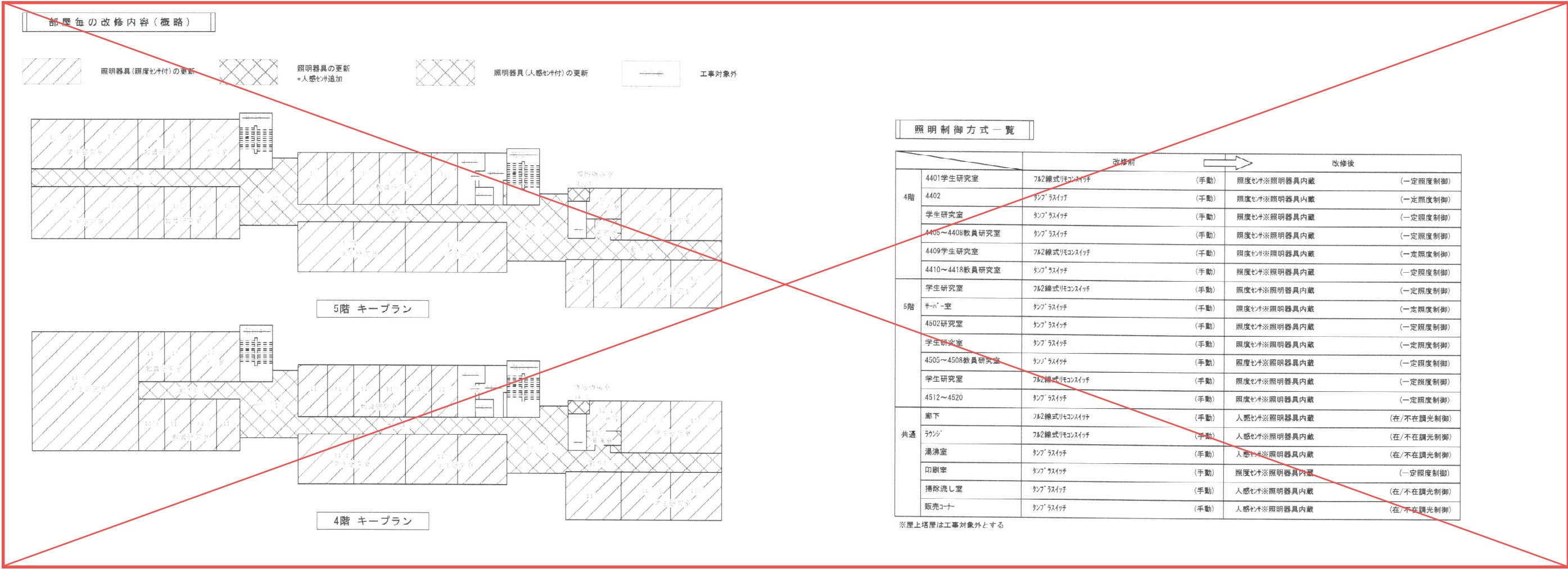
工事対象外



照明制御方式一覧

		改修前	→	改修後
1階	受電室2	タプルスイッチ	(手動)	人感センサ※照明器具内蔵 (在/不在調光制御)
	会議室	タプルスイッチ	(手動)	照度センサ※照明器具内蔵 (一定照度制御)
	物理実験室	782線式リモコンスイッチ	(手動)	照度センサ※照明器具内蔵 (一定照度制御)
	外灯	782線式リモコンスイッチ	(手動)	人感センサ※照明器具内蔵 (在/不在調光制御)
	学生研究室準備室	782線式リモコンスイッチ	(手動)	照度センサ※照明器具内蔵 (一定照度制御)
	倉庫	タプルスイッチ	(手動)	人感センサ※照明器具内蔵 (在/不在調光制御)
	教職課程共同ゼミ室	782線式リモコンスイッチ	(手動)	照度センサ※照明器具内蔵 (一定照度制御)
	人間環境実習・演習室	782線式リモコンスイッチ	(手動)	照度センサ※照明器具内蔵 (一定照度制御)
	前室	タプルスイッチ	(手動)	人感センサ※照明器具内蔵 (在/不在調光制御)
	男子・女子便所	人感センサ+タプルスイッチ	(在/不在調光制御)	人感センサ+タプルスイッチ (在/不在調光制御)
	多目的便所	人感センサ	(在/不在調光制御)	人感センサ (在/不在調光制御)
2階	化学実験室	782線式リモコンスイッチ	(手動)	照度センサ※照明器具内蔵 (一定照度制御)
	環境準備室・飼育室	782線式リモコンスイッチ	(手動)	人感センサ (在/不在調光制御)
	学生研究室	タプルスイッチ	(手動)	照度センサ※照明器具内蔵 (一定照度制御)
	学部・センター事務室	タプルスイッチ	(手動)	照度センサ※照明器具内蔵 (一定照度制御)
	教員研究室	タプルスイッチ	(手動)	照度センサ※照明器具内蔵 (一定照度制御)
	4207～4217ゼミ室	タプルスイッチ	(手動)	照度センサ※照明器具内蔵 (一定照度制御)
3階	便所	人感センサ	(在/不在調光制御)	人感センサ (在/不在調光制御)
	学生研究室	782線式リモコンスイッチ	(手動)	照度センサ※照明器具内蔵 (一定照度制御)
	4302	タプルスイッチ	(手動)	照度センサ※照明器具内蔵 (一定照度制御)
	4305～4308教員研究室	タプルスイッチ	(手動)	照度センサ※照明器具内蔵 (一定照度制御)
	4309学生研究室	782線式リモコンスイッチ	(手動)	照度センサ※照明器具内蔵 (一定照度制御)
共通	4310～4318教員研究室	タプルスイッチ	(手動)	照度センサ※照明器具内蔵 (一定照度制御)
	廊下	782線式リモコンスイッチ	(手動)	人感センサ※照明器具内蔵 (在/不在調光制御)
	ラウンジ	782線式リモコンスイッチ	(手動)	人感センサ※照明器具内蔵 (在/不在調光制御)
	通廊室	タプルスイッチ	(手動)	人感センサ※照明器具内蔵 (在/不在調光制御)
	印刷室	タプルスイッチ	(手動)	照度センサ※照明器具内蔵 (一定照度制御)
	掃除室	タプルスイッチ	(手動)	人感センサ※照明器具内蔵 (在/不在調光制御)
	販売コーナー	タプルスイッチ	(手動)	人感センサ※照明器具内蔵 (在/不在調光制御)





照明器具 参考図

1. 図中、形状・仕様等は参考とする。
2. 消費電力はJIS C 8105-3による。

A322	LED埋込型40形 下面開放型 W220 埋込HF32W×2 (埋込220×1235)	新設 撤去	B321a	LED直付型40形 DX94× W150 露出HF32W×1	新設 撤去	B321b	LED埋込型40形 下面開放型 W150 埋込HF32W×1 (埋込150×1235)	新設 撤去	B321BL	LED非常灯直付型40形 露出FH32W×1 (非常灯)	新設 撤去	B322a	LED直付型40形 スリムタイプ 露出FH32W×2	新設 撤去	B322b	LED埋込型40形 下面開放型 W220 埋込HF32W×2 (埋込220×1235)	新設 撤去	G322a	LED直付型40形 スリムタイプ 露出FH32W×2	新設 撤去	G322b	LED埋込型40形 下面開放型 W220 埋込HF32W×2 (埋込220×1235)	新設 撤去
	一般タイプ、6900lmタイプ、電圧100~242V 消費電力43.1W、定格出力型 本体:亜鉛鋼板 反射板:銅板(高反射白色粉体塗装) ライトカバー(カバー):ホリカベネット(乳白) 星白色(5000K)、Ra83			ひととセンサー付、3200lmタイプ、電圧100~242V 消費電力20.6W、定格出力型 本体:亜鉛鋼板 反射板:銅板(高反射白色粉体塗装) ライトカバー(カバー):ホリカベネット(乳白) 星白色(5000K)、Ra83			ひととセンサー付、3200lmタイプ、電圧100~242V 消費電力20.6W、定格出力型 本体:亜鉛鋼板 反射板:銅板(高反射白色粉体塗装) ライトカバー(カバー):ホリカベネット(乳白) 星白色(5000K)、Ra83			ひととセンサーON/OFF30分 HF32形器具1灯相当 非常灯本体相連LED点灯 電圧:100~242V対応。蓄電池:ニッケル水素電池 本体:銅板(白色塗装)、レンズ:ホリカベネット(乳白) 常用光ユニット(カバー):ホリカベネット(乳白)			ひととセンサー付、6900lmタイプ、電圧100~242V 消費電力43.1W、定格出力型 本体:亜鉛鋼板 反射板:銅板(高反射白色粉体塗装) ライトカバー(カバー):ホリカベネット(乳白) 星白色(5000K)、Ra83			ひととセンサー付、6900lmタイプ、電圧100~242V 消費電力43.1W、定格出力型 本体:亜鉛鋼板 反射板:銅板(高反射白色粉体塗装) ライトカバー(カバー):ホリカベネット(乳白) 星白色(5000K)、Ra83			明るさセンサー付、6900lmタイプ、電圧100~242V 消費電力43.1W、定格出力型 本体:亜鉛鋼板 反射板:銅板(高反射白色粉体塗装) ライトカバー(カバー):ホリカベネット(乳白) 星白色(5000K)、Ra83			明るさセンサー付、6900lmタイプ、電圧100~242V 消費電力43.1W、定格出力型 本体:亜鉛鋼板 反射板:銅板(高反射白色粉体塗装) ライトカバー(カバー):ホリカベネット(乳白) 星白色(5000K)、Ra83	
D100a	LEDダウンライト 100形 ダウンライトFDL18形×1 (埋込φ150)	新設 撤去	D100b	LEDひととセンサー付ダウンライト 100形 特注ワットレイト(φ175→φ100) FDL18形×1 (埋込φ175)	新設 撤去	D150	LEDダウンライト 150形 ダウンライトFH132W×1 (埋込φ150)	新設 撤去	D200	LEDひととセンサー付ダウンライト 200形 150形カバー(埋込φ150) 別置安定器(ダウンライト最寄り)	新設 撤去	E60a	LEDシーリングライト 60形電球相当 シーリングライト40W電球1(E26)	新設 撤去	E100	LEDシーリングライト 100形1灯相当 シーリングライト100W電球1(E26)	新設 撤去	F100	LEDダウンライト 100形電球1灯相当 屋外ダウンライトFVL36W×1	新設 撤去			
	非調光、5000K、拡散タイプ、電圧:100~242V 器具光束:1005lm、消費電力:7W 反射板(上部):アクリル(約41) 反射板(下部):7&2(銀色鏡面仕上) 枠:銅板(約1つや消し仕上)、埋込穴φ150			ひととセンサー付、5000K、拡散タイプ 器具光束:1005lm、消費電力:7.1W、電圧:100~242V 反射板(上部):アクリル(約41) 反射板(下部):7&2(銀色鏡面仕上) 枠:銅板(約1つや消し仕上)、埋込穴φ100			非調光、5000K、拡散タイプ、電圧:100~242V 器具光束:1630lm、消費電力:11.6W 反射板(上部):アクリル(約41) 反射板(下部):7&2(銀色鏡面仕上) 枠:銅板(約1つや消し仕上)、埋込穴φ150			ひととセンサー付、5000K、拡散タイプ 器具光束:2035lm、消費電力:15W、電圧:100~242V 反射板(上部):アクリル(約41) 枠:反射板(下部):7&2(銀色鏡面仕上)や消し仕上 埋込穴φ150			器具光束450lm、消費電力7.3W、電圧100V 拡散タイプ、明るさセンサー付、天井直付型 カバー:アクリル(約41) 点灯照度・点灯保持時間調整機能付 消灯お知らせ機能付			星白色(5000K)、Ra83 器具光束965lm、消費電力7.9、電圧100V 天井面・壁面取付専用 カバー:アクリル(約41) 遮り用端子台付			星白色(5000K)、Ra83、PaPIRs・明るさセンサー付 器具光束710lm、消費電力9.3W、電圧100V 集光タイプ、防雨型、お好みで 7&2(銀色鏡面仕上)や消し仕上、7&2(透明) 可動範囲上90度、回転方向330度				

受付

24. 8. - 8

公立鳥取環境大学

Living Environment Technology

株式会社 LET

一級建築士事務所/建築設備設計事務所

一級建築士事務所 鳥取県知事登録 第04-1348号
管理建築士 森本博美 第103826号
建築設備士 笠津貴文 第24F1-0044N0号

CHECK

笠津

DRAW

小合

TITLE

教育研究棟ほかLED照明器具更新工事

NAME

照明器具参考図、4~5階照明制御方式一覧(教育研究棟)

DATE

2024. 08

SCALE

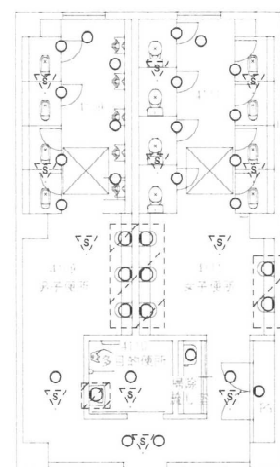
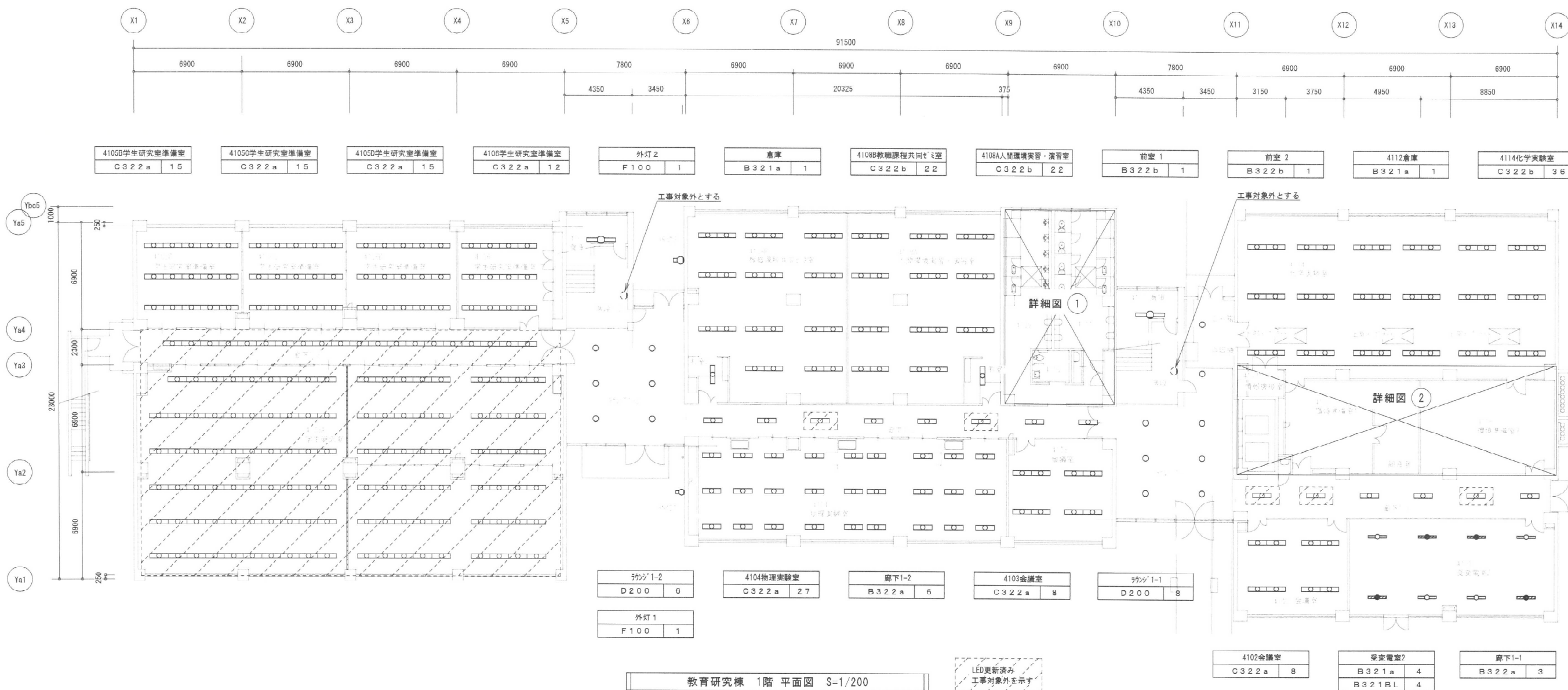
(A2)
(A3)

NO.

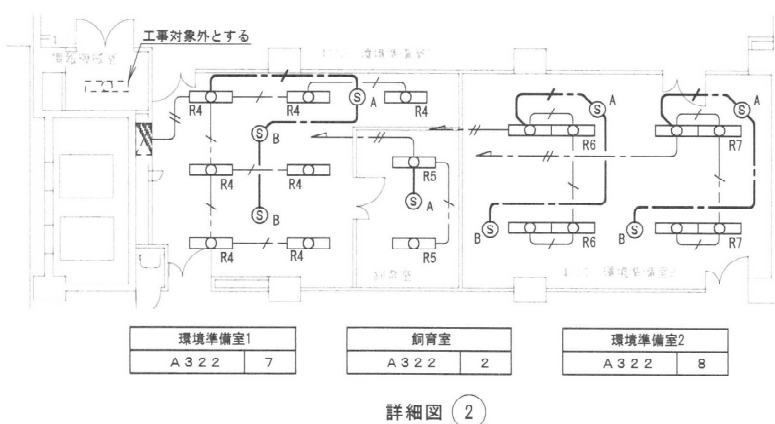
05

E

15



4109男子便所	D 100 a	10
4111女子便所	D 100 a	11
PS	E 60 a	1
4110多目的便所	D 150	1
掃除流し室	E 60 a	1



凡 例

記号	名 称	備 考
■	既設分電盤	
ⓐ	人感センサー	天井埋込 8A 広角検知 200V用
ⓑ	人感センサー	天井埋込 200V用
Ⓐ	既設人感センサー	

※図中、指示なきセンサーは標準図による。

注 記

- 既存建物を十分確認の上、施工のこと。
- 図中、太線で示す配管配線・センサーは新設すること。
- 図中、細線で示す配管配線・センサーは既設を示す。
- 図中、指示なき配管配線は下記による。

---	EM-EEF2.0-3C	天井内	新設
---	EM-EEF2.0-2C	天井内	新設
---	EM-EEF1.6-3C	天井内	既設のまま
---	EM-EEF2.0-3C	天井内	既設のまま
- 天井内配線は天井点検口及びダクトン埋込照明等取り外しの上、敷設を行うこと。

受付
24.8.-8
公立鳥取環境大学

情報メディアセンターほかLED照明器具更新工事

図 面 目 録

図面番号	図 面 名 称	縮 尺	図面番号	図 面 名 称	縮 尺
E-00	図面目録	—	E-11	2階（上層）書架連動照明 平面図（情報メディアセンター）	S=1/200
E-01	電気設備工事 特記仕様書（1）	—	E-12	1階照明制御方式一覧（学生センター棟）	—
E-02	電気設備工事 特記仕様書（2）	—	E-13	2階照明制御方式一覧、盤結線図（学生センター棟）	—
E-03	配置図、付近見取図	S=1/1500	E-14	照明器具参考姿図（学生センター棟）	—
E-04	照明制御方式一覧（情報メディアセンター）	—	E-15	1階平面図（学生センター棟）	S=1/150
E-05	照明器具参考姿図（情報メディアセンター）	—	E-16	2階平面図（学生センター棟）	S=1/150
E-06	地下階平面図（情報メディアセンター）	S=1/150	E-17	照明制御方式一覧、照明器具参考姿図（クラブハウス）	—
E-07	1階平面図（1）（情報メディアセンター）	S=1/150	E-18	平面図（クラブハウス）	S=1/150
E-08	1階平面図（2）（情報メディアセンター）	S=1/150			
E-09	2階（下層）平面図（情報メディアセンター）	S=1/150			
E-10	2階（上層）平面図（情報メディアセンター）	S=1/150			



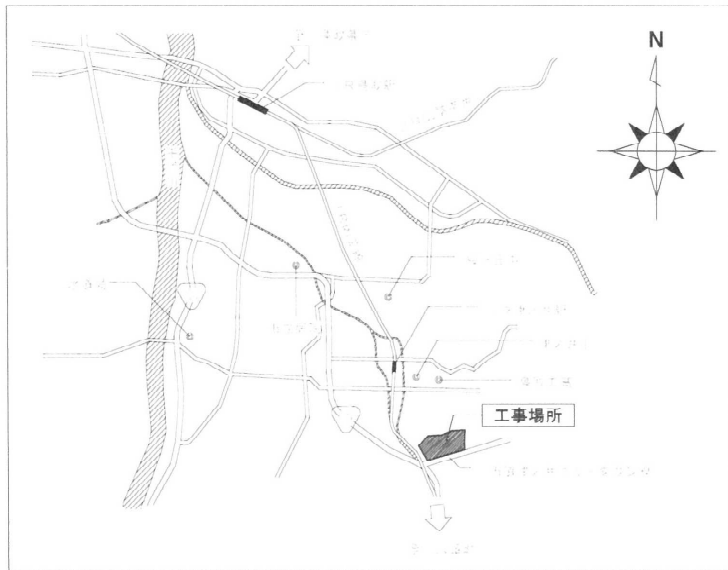
一般共通事項

15 工事用仮設物
16 土工
17 電線類
18 電線敷・管束等
19 厚膜電線管の溶融差鉛メッキ
20 露山配管の塗装
21 溶付硬質合成樹脂管 (FRP)
22 フラッシュプレートの材質
23 カバープレートの用途別表示
24 地中箱
25 耐震施工
26 接地径
27 壁上・壁側の支持金物等
28 結露防止
29 アスベスト含有建材の処理

構内につくることが ※ できる ● できない
埋め戻し土 ※ 掘切土の中の良質土 ● 山砂の類 () ● 真砂土 ()
建設発生土の処理 ● 構内に搬出し適切に処理 ※ 構内敷きならし ● 構内の指示する場所に堆積
本工事では環境配慮の観点から、原則としてEMケーブルを使用するものとする。
FIM電線類で規格等の定めのないものはハロゲン及び鉛を含まない材料で構成されたものとする。
通信ケーブルでJCS規格にない対数のケーブルはJCS規格に準じたものとする。
架内配線はEM電線を使用する。ただし、製造者標準品と特記したものは除く。
ハーネスジョイントボックス用のメタブのケーブルはハロゲン及び鉛を含まない材料とする。
分電盤、制御盤、端子盤などの2次側以降の配線経路、電線引き、電線束管、管径などは監督職員の承認を受けて変更してもよしかえない。
メッキ付着量 300g/m以上とする。(※ 屋外 ●)
塗装する部分 ● 居室、廊下等 ● 機械室 ● 屋外 ●
溶付硬質合成樹脂管 (FRP) を使用する場合は不燃又は難燃性とする。
● 金属製 (ステンレス、新金属も含む) ● 樹脂製
ケーブル等を貼付する。
塗の記号表示は鋼造品及び(鳥取県又は鳥取県、及び用途を記入)とし、ハンドホール内のケーブル支持等はマンホールに準じて行う。
路線機器の固定は「官庁施設の総合耐震計画基準及び関係規」(平成6年版・建設大臣官庁官庁建築部監修)によることとし、施工は「建築設備計画設計・施工指針2014年版」(国土交通省国土技術政策総合研究所・独立行政法人建築研究所監修)による。
1) 設計用水平地震力
構造物の重量[kN]に、設計用標準水平震度を乗じたものとする。なお、特記なき場合、設計用標準水平震度は、次による。
設計用標準水平震度
設置場所 機器種別 重要機器 一般機器 重要機器 一般機器
上層階注: 壁上及び壁面 防振支持の機器 2.0 2.0 1.5
水槽類 1.5 1.0
中間階 防振支持の機器 1.5 1.5 1.0
水槽類 1.0 0.6
地下及び1階 防振支持の機器 1.0 1.0 0.4
水槽類 1.5 0.0
注) 上層階の定義は次による。 ※水槽類には燃料小出槽を含む。
2～9階建: 最上層、7～9階建: 上層2階、10～12階建: 上層3階、13階以上: 上層4階
重要機器 (● 配電盤 ● 非常用発電装置 ● 交換機 ● 直流電源装置 ● UPS装置 ● 火災報知設備 ● 中央監視制御装置 ●)
2) 設計用鉛直地震力
設計用水平地震力の1/√2とし、水平地震力と同時に働くものとする。
接地径の材料は次による。
接地の種類 配 号 接地抵抗値 接 地 極
● 共同接地 E A E D 10Ω以下 E B × 3 連～2 組
● 共同接地 E A E C E D 10Ω以下 E B × 3 連～2 組
● A 種 E A 10Ω以下 E B × 3 連～2 組
● B 種 E B Ω以下 E B × 2 連～2 組
● C 種 E C 10Ω以下 E B × 3 連～2 組
● D 種 E D 100Ω以下 E B × 1
● 雷保護設備 E L A Ω以下 ● E P - 0, 6 × 2 ● E B × 1 連～1 組
● 高圧避雷器 E L H 10Ω以下 E B × 3 連～2 組
● 交換機用 E t Ω以下 E B × 3 連～1 組
● 通信用 E A t 10Ω以下 E B × 3 連～2 組
● 通信用 E D t 及び E D a 100Ω以下 E B × 1
● 電話引込口の保安器用 E L t 100Ω以下 E B × 1
● 測定用 E o - ー E B × 1
(連絡又は単独の場合、E BはD=14 L=1500 または W=40 L=1200とする)
(測定用の場合、E BはD=10 L=1500 または W=30 L=1200とする)
ステンレス製または鋼材に溶融差鉛メッキを施したものとする。
外気に面する壁、スラブ等で打ちこみとなる位置ボックスは保温、結露防止処理を行う。
建設改修標準仕様書 9章 環境配慮改修工事 1節 アスベスト含有建材の処理工事による。
処理を行うアスベスト含有建材の仕様等
建材の内容・箇所 仕様等 処理を行う範囲
※ 県有施設の石綿除去等に関する施工業者の登録制度による登録業者を活用するものとする。
※ 官公署その他の手続きは、建設改修標準仕様書によるほか、労働安全衛生法、大気汚染防止法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、石綿障害予防規則、鳥取県石綿健康被害防止条例等の関係法令に基づいて必要な手続きを行う。
● 施工調査 (分析によるアスベスト含有建材の調査) を行う。
分析方法はJIS A 1481「建材製品中のアスベスト含有率測定方法」による。
● アスベスト粉じん濃度測定を行う。
(測定時期: 測定場所: 測定点:)
● 洗浄設備 (洗剤、うがいの設備) 及び更衣設備等を設ける。
● 作業車の養生として、処理場所をプラスチックシート等で囲い、外部への粉じん飛散を防止する。
対象箇所 ()

一般共通事項
10 比 率 設 備
11 誘 導 文 字
12 火 災 報 知 設 備
13 構 内 通 信 線 路
14 構 内 通 信 線 路
15 テレホン回線等設置設備
16 そ の 他
1 増幅器 形式 (● 卓上形 ● ラック形) 定格出力 (W) 性能 (● H 1 形 ● L 6 形)
● 増幅器の入出力配線と外部配線 (壁ボックス等) の接続はコネクタによる。
2 音声誘導装置 検出方式 (● 空気方式 ● 無線方式 ● 図像認識方式)
3 自動火災報知設備 受信機 (● 型 級 回線 (番報型) ● 複合形 ● 単独形)
● 防火戸用 (※ ラッチ式 ● 電磁式)
● 防煙ダンパー用 (※ 電動復帰 ● 手動復帰)
● 防火シャッター用 (※ 別途工事 ● 本工事)
検知器 (● 天井取付形 ● 壁取付形)
4 高圧ケーブルの端部処理 高圧ケーブルの両端部にシースの締め対策 (熱縮縮テープによるシース止め対策等) を行う。
● 一般形 ● 耐塩形
※ 高圧 ● 低圧
5 照明用ポール 照明用ポールには配線用遮断器 (トリップ機能なし) 又はカットアウトスイッチ (素通しヒューズ) を内蔵する。ただし、ガーデンプライライトは除く。
6 施工方法 埋設深さ ※ G L - 300 以上、舗装のある場合は舗装下 - 300 以上とする。
● G L - 600 以上 (● 直路 ● 高圧配線 ● 鉄線 ●)
7 地中箱 ハンドホール内のケーブル支持等は、マンホールに準じて行う。
8 保護シート ● データ回線 ● 電話 ● C A T V ●
9 照明用ポール 図面に記載されていない事項は、すべて (一社) 日本CATV技術協会の「建築物によるテレビ受信障害調査要領」及び「建築物によるテレビ受信障害調査要領 (地上デジタル放送)」の最新版により調査を行い、同協会の技術審査を受けるものとする。
※ 事前 ● 中間 ※ 事後
中継局 波: 地点
中継局 波: 地点
※ 事前 3 部 ● 中間 部 ※ 事後 3 部
10 機器取付高
機器取付高は下記を標準とする。ただし、天井高 3 m 以上の場合及び機器の使用に支障がある場合は監督職員と協議する。
電力供給 名 称 測 点 取付高 (mm)
取引用計器 地上～室中心 1,800～2,000
引込開閉器 地上～中心 1,800～2,000
分電盤・OA盤・実験盤 床下～中心 1,600 (上層1,900以下)
スイッチ 〃 1,300
〃 (多機能トイレル) 〃 1,100
コンセント (一般) 〃 300
〃 (和室) 〃 150
〃 (倉上) 〃 150
〃 (土間) 床下～中心 800～1,300
〃 (車庫用) 〃 900
ボックス (一般) 〃 2,100～2,300
〃 (店舗) 〃 2,000～2,500
〃 (鏡上) 鏡上端～中心 150
動力 壁掛け形制御盤 床下～中心 1,500 (上層1,900以下)
手先開閉器 〃 1,500
操作スイッチ 〃 1,300
構内交換機 端子盤 床下～下端 300
保安器箱 天井下～上端 200
壁付アウトレット 床下～中心 300
〃 (和室) 〃 150
電圧計 壁掛け形時計 床下～中心 1,500 (上層1,900以下)
子時計 〃 天井高 × 0.9
表示灯 壁掛けスピーカ 床下～中心 天井高 × 0.9
壁付アンテナ 〃 1,300
2 工事のため送電線及び配電線の近くで作業するときは、事前に中国電力に連絡し、事故防止に努めるものとする。
Ⅲ. 機 材
工事に使用する機器及び材料は、図面に仕様等が明記してあるものを除き、原則として標準仕様書に規定するもの及び (社) 公共建築協会発行の「建築材料・設備機材等品質性能評価事業 設備機材等評価名簿」による。
ただし、壁面は上記によるほか以下の製造業者とする。
機水井電機工業所 ㈱平木電機産業
小林製電機 ㈱富士オートメーション
機英産業㈱ ㈱増田電機製作所

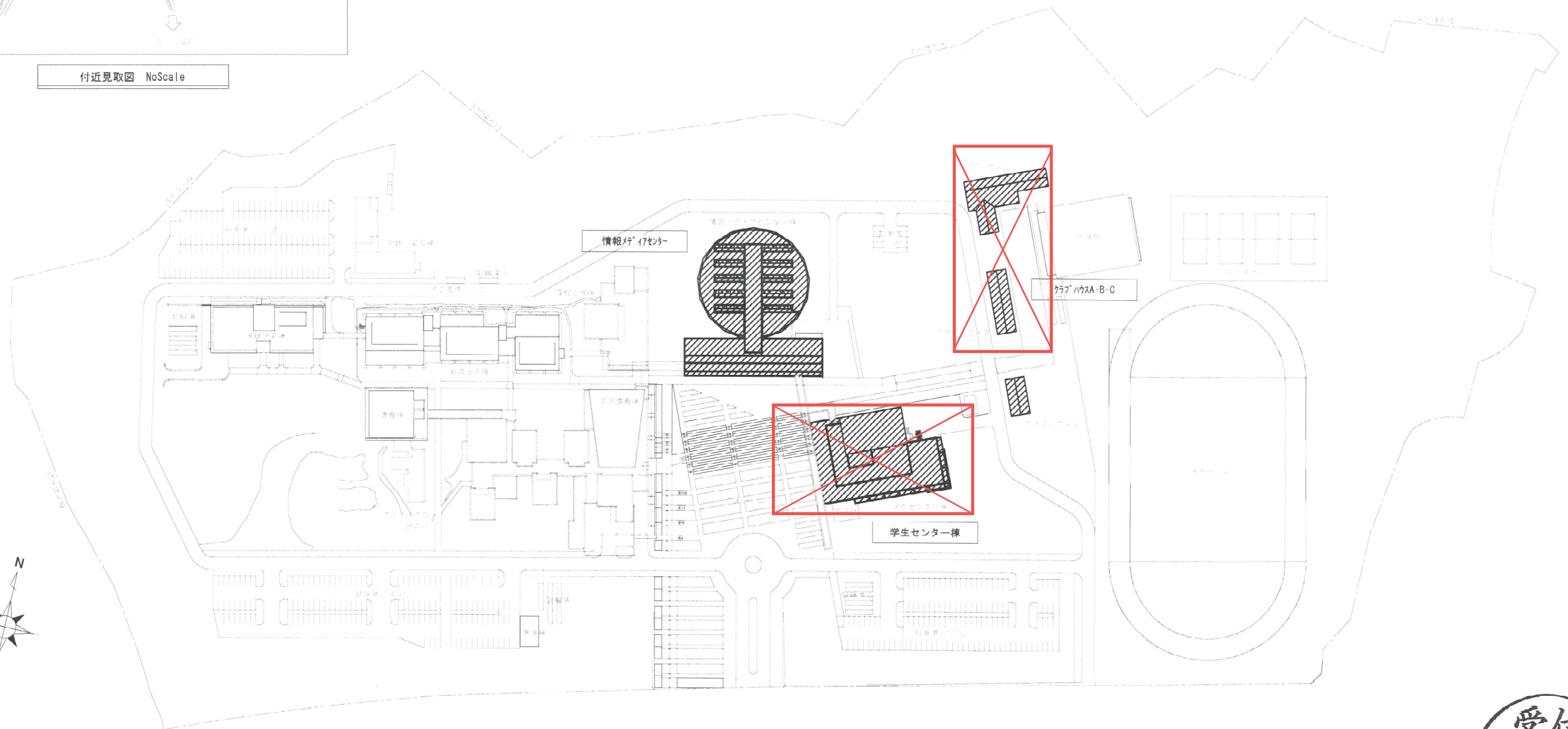
一般共通事項
30 補修など
31 はつり
32 はつり工事における非破壊検査
33 あと施工アンカー
34 室内空気中の化学物質の濃度測定
35 火災保険等
36 鳥取県公共事業環境配慮指針
37 建築関係工手法
38 照明器具
39 一般照明の照度測定
40 非常用照明の照度測定
41 照明制御の照度測定等
42 機器への接続
43 大地抵抗率の測定
44 外部雷保護設備接地システム
45 変圧器移動距離
46 デマンド監視装置
47 線内照明
48 文通無線停電電源装置 (UPS)
49 電力許容設備
50 自家発電装置
51 ディーゼル発電装置
52 ガスエンジン発電装置
53 ガスタービン発電装置
54 熱併給発電装置
55 燃料電池発電装置
56 太陽光発電装置
57 風力発電装置
58 交換機
59 保安器用接地
60 壁付電話機との接続
61 図取数
62 電話機
63 電話機への配線
64 マルチサイン装置
65 出退席表示装置
66 時刻表示装置
67 プロジェクタ
68 制音装置
69 呼出機能
70 時計
71 太陽電池式壁掛け時計 (点灯時間 h 点灯保証日数 日)
72 光出力 (● 1 形 ● 2 形 ● 3 形) 照度 (● A 形 ● B 形 ● C 形)
73 コントラスト比 (● X 形 ● Y 形)
74 イメージキャナ (● 読める ● 読けない)
75 制音装置 (● 壁掛形 ● 埋込形 ● 別置形)
76 呼出機能 (● 有 ● 無) 方式 (● 発光ダイオード ● 液晶 ●)
77 時計 (● 壁掛形 ● 埋込形 ● ラック形 ● 図録)
78 太陽電池式壁掛け時計 (点灯時間 h 点灯保証日数 日)
79 光出力 (● 1 形 ● 2 形 ● 3 形) 照度 (● A 形 ● B 形 ● C 形)
80 コントラスト比 (● X 形 ● Y 形)
81 イメージキャナ (● 読める ● 読けない)
82 制音装置 (● 壁掛形 ● 埋込形 ● 別置形)
83 呼出機能 (● 有 ● 無) 方式 (● 発光ダイオード ● 液晶 ●)
84 時計 (● 壁掛形 ● 埋込形 ● ラック形 ● 図録)
85 太陽電池式壁掛け時計 (点灯時間 h 点灯保証日数 日)
86 光出力 (● 1 形 ● 2 形 ● 3 形) 照度 (● A 形 ● B 形 ● C 形)
87 コントラスト比 (● X 形 ● Y 形)
88 イメージキャナ (● 読める ● 読けない)
89 制音装置 (● 壁掛形 ● 埋込形 ● 別置形)
90 呼出機能 (● 有 ● 無) 方式 (● 発光ダイオード ● 液晶 ●)
91 時計 (● 壁掛形 ● 埋込形 ● ラック形 ● 図録)
92 太陽電池式壁掛け時計 (点灯時間 h 点灯保証日数 日)
93 光出力 (● 1 形 ● 2 形 ● 3 形) 照度 (● A 形 ● B 形 ● C 形)
94 コントラスト比 (● X 形 ● Y 形)
95 イメージキャナ (● 読める ● 読けない)
96 制音装置 (● 壁掛形 ● 埋込形 ● 別置形)
97 呼出機能 (● 有 ● 無) 方式 (● 発光ダイオード ● 液晶 ●)
98 時計 (● 壁掛形 ● 埋込形 ● ラック形 ● 図録)
99 太陽電池式壁掛け時計 (点灯時間 h 点灯保証日数 日)
100 光出力 (● 1 形 ● 2 形 ● 3 形) 照度 (● A 形 ● B 形 ● C 形)
101 コントラスト比 (● X 形 ● Y 形)
102 イメージキャナ (● 読める ● 読けない)
103 制音装置 (● 壁掛形 ● 埋込形 ● 別置形)
104 呼出機能 (● 有 ● 無) 方式 (● 発光ダイオード ● 液晶 ●)
105 時計 (● 壁掛形 ● 埋込形 ● ラック形 ● 図録)
106 太陽電池式壁掛け時計 (点灯時間 h 点灯保証日数 日)
107 光出力 (● 1 形 ● 2 形 ● 3 形) 照度 (● A 形 ● B 形 ● C 形)
108 コントラスト比 (● X 形 ● Y 形)
109 イメージキャナ (● 読める ● 読けない)
110 制音装置 (● 壁掛形 ● 埋込形 ● 別置形)
111 呼出機能 (● 有 ● 無) 方式 (● 発光ダイオード ● 液晶 ●)
112 時計 (● 壁掛形 ● 埋込形 ● ラック形 ● 図録)
113 太陽電池式壁掛け時計 (点灯時間 h 点灯保証日数 日)
114 光出力 (● 1 形 ● 2 形 ● 3 形) 照度 (● A 形 ● B 形 ● C 形)
115 コントラスト比 (● X 形 ● Y 形)
116 イメージキャナ (● 読める ● 読けない)
117 制音装置 (● 壁掛形 ● 埋込形 ● 別置形)
118 呼出機能 (● 有 ● 無) 方式 (● 発光ダイオード ● 液晶 ●)
119 時計 (● 壁掛形 ● 埋込形 ● ラック形 ● 図録)
120 太陽電池式壁掛け時計 (点灯時間 h 点灯保証日数 日)
121 光出力 (● 1 形 ● 2 形 ● 3 形) 照度 (● A 形 ● B 形 ● C 形)
122 コントラスト比 (● X 形 ● Y 形)
123 イメージキャナ (● 読める ● 読けない)
124 制音装置 (● 壁掛形 ● 埋込形 ● 別置形)
125 呼出機能 (● 有 ● 無) 方式 (● 発光ダイオード ● 液晶 ●)
126 時計 (● 壁掛形 ● 埋込形 ● ラック形 ● 図録)
127 太陽電池式壁掛け時計 (点灯時間 h 点灯保証日数 日)
128 光出力 (● 1 形 ● 2 形 ● 3 形) 照度 (● A 形 ● B 形 ● C 形)
129 コントラスト比 (● X 形 ● Y 形)
130 イメージキャナ (● 読める ● 読けない)
131 制音装置 (● 壁掛形 ● 埋込形 ● 別置形)
132 呼出機能 (● 有 ● 無) 方式 (● 発光ダイオード ● 液晶 ●)
133 時計 (● 壁掛形 ● 埋込形 ● ラック形 ● 図録)
134 太陽電池式壁掛け時計 (点灯時間 h 点灯保証日数 日)
135 光出力 (● 1 形 ● 2 形 ● 3 形) 照度 (● A 形 ● B 形 ● C 形)
136 コントラスト比 (● X 形 ● Y 形)
137 イメージキャナ (● 読める ● 読けない)
138 制音装置 (● 壁掛形 ● 埋込形 ● 別置形)
139 呼出機能 (● 有 ● 無) 方式 (● 発光ダイオード ● 液晶 ●)
140 時計 (● 壁掛形 ● 埋込形 ● ラック形 ● 図録)
141 太陽電池式壁掛け時計 (点灯時間 h 点灯保証日数 日)
142 光出力 (● 1 形 ● 2 形 ● 3 形) 照度 (● A 形 ● B 形 ● C 形)
143 コントラスト比 (● X 形 ● Y 形)
144 イメージキャナ (● 読める ● 読けない)
145 制音装置 (● 壁掛形 ● 埋込形 ● 別置形)
146 呼出機能 (● 有 ● 無) 方式 (● 発光ダイオード ● 液晶 ●)
147 時計 (● 壁掛形 ● 埋込形 ● ラック形 ● 図録)
148 太陽電池式壁掛け時計 (点灯時間 h 点灯保証日数 日)
149 光出力 (● 1 形 ● 2 形 ● 3 形) 照度 (● A 形 ● B 形 ● C 形)
150 コントラスト比 (● X 形 ● Y 形)
151 イメージキャナ (● 読める ● 読けない)
152 制音装置 (● 壁掛形 ● 埋込形 ● 別置形)
153 呼出機能 (● 有 ● 無) 方式 (● 発光ダイオード ● 液晶 ●)
154 時計 (● 壁掛形 ● 埋込形 ● ラック形 ● 図録)
155 太陽電池式壁掛け時計 (点灯時間 h 点灯保証日数 日)
156 光出力 (● 1 形 ● 2 形 ● 3 形) 照度 (● A 形 ● B 形 ● C 形)
157 コントラスト比 (● X 形 ● Y 形)
158 イメージキャナ (● 読める ● 読けない)
159 制音装置 (● 壁掛形 ● 埋込形 ● 別置形)
160 呼出機能 (● 有 ● 無) 方式 (● 発光ダイオード ● 液晶 ●)
161 時計 (● 壁掛形 ● 埋込形 ● ラック形 ● 図録)
162 太陽電池式壁掛け時計 (点灯時間 h 点灯保証日数 日)
163 光出力 (● 1 形 ● 2 形 ● 3 形) 照度 (● A 形 ● B 形 ● C 形)
164 コントラスト比 (● X 形 ● Y 形)
165 イメージキャナ (● 読める ● 読けない)
166 制音装置 (● 壁掛形 ● 埋込形 ● 別置形)
167 呼出機能 (● 有 ● 無) 方式 (● 発光ダイオード ● 液晶 ●)
168 時計 (● 壁掛形 ● 埋込形 ● ラック形 ● 図録)
169 太陽電池式壁掛け時計 (点灯時間 h 点灯保証日数 日)
170 光出力 (● 1 形 ● 2 形 ● 3 形) 照度 (● A 形 ● B 形 ● C 形)
171 コントラスト比 (● X 形 ● Y 形)
172 イメージキャナ (● 読める ● 読けない)
173 制音装置 (● 壁掛形 ● 埋込形 ● 別置形)
174 呼出機能 (● 有 ● 無) 方式 (● 発光ダイオード ● 液晶 ●)
175 時計 (● 壁掛形 ● 埋込形 ● ラック形 ● 図録)
176 太陽電池式壁掛け時計 (点灯時間 h 点灯保証日数 日)
177 光出力 (● 1 形 ● 2 形 ● 3 形) 照度 (● A 形 ● B 形 ● C 形)
178 コントラスト比 (● X 形 ● Y 形)
179 イメージキャナ (● 読める ● 読けない)
180 制音装置 (● 壁掛形 ● 埋込形 ● 別置形)
181 呼出機能 (● 有 ● 無) 方式 (● 発光ダイオード ● 液晶 ●)
182 時計 (● 壁掛形 ● 埋込形 ● ラック形 ● 図録)
183 太陽電池式壁掛け時計 (点灯時間 h 点灯保証日数 日)
184 光出力 (● 1 形 ● 2 形 ● 3 形) 照度 (● A 形 ● B 形 ● C 形)
185 コントラスト比 (● X 形 ● Y 形)
186 イメージキャナ (● 読める ● 読けない)
187 制音装置 (● 壁掛形 ● 埋込形 ● 別置形)
188 呼出機能 (● 有 ● 無) 方式 (● 発光ダイオード ● 液晶 ●)
189 時計 (● 壁掛形 ● 埋込形 ● ラック形 ● 図録)
190 太陽電池式壁掛け時計 (点灯時間 h 点灯保証日数 日)
191 光出力 (● 1 形 ● 2 形 ● 3 形) 照度 (● A 形 ● B 形 ● C 形)
192 コントラスト比 (● X 形 ● Y 形)
193 イメージキャナ (● 読める ● 読けない)
194 制音装置 (● 壁掛形 ● 埋込形 ● 別置形)
195 呼出機能 (● 有 ● 無) 方式 (● 発光ダイオード ● 液晶 ●)
196 時計 (● 壁掛形 ● 埋込形 ● ラック形 ● 図録)
197 太陽電池式壁掛け時計 (点灯時間 h 点灯保証日数 日)
198 光出力 (● 1 形 ● 2 形 ● 3 形) 照度 (● A 形 ● B 形 ● C 形)
199 コントラスト比 (● X 形 ● Y 形)
200 イメージキャナ (● 読める ● 読けない)
201 制音装置 (● 壁掛形 ● 埋込形 ● 別置形)
202 呼出機能 (● 有 ● 無) 方式 (● 発光ダイオード ● 液晶 ●)
203 時計 (● 壁掛形 ● 埋込形 ● ラック形 ● 図録)
204 太陽電池式壁掛け時計 (点灯時間 h 点灯保証日数 日)
205 光出力 (● 1 形 ● 2 形 ● 3 形) 照度 (● A 形 ● B 形 ● C 形)
206 コントラスト比 (● X 形 ● Y 形)
207 イメージキャナ (● 読める ● 読けない)
208 制音装置 (● 壁掛形 ● 埋込形 ● 別置形)
209 呼出機能 (● 有 ● 無) 方式 (● 発光ダイオード ● 液晶 ●)
210 時計 (● 壁掛形 ● 埋込形 ● ラック形 ● 図録)
211 太陽電池式壁掛け時計 (点灯時間 h 点灯保証日数 日)
212 光出力 (● 1 形 ● 2 形 ● 3 形) 照度 (● A 形 ● B 形 ● C 形)
213 コントラスト比 (● X 形 ● Y 形)
214 イメージキャナ (● 読める ● 読けない)
215 制音装置 (● 壁掛形 ● 埋込形 ● 別置形)
216 呼出機能 (● 有 ● 無) 方式 (● 発光ダイオード ● 液晶 ●)
217 時計 (● 壁掛形 ● 埋込形 ● ラック形 ● 図録)
218 太陽電池式壁掛け時計 (点灯時間 h 点灯保証日数 日)
219 光出力 (● 1 形 ● 2 形 ● 3 形) 照度 (● A 形 ● B 形 ● C 形)
220 コントラスト比 (● X 形 ● Y 形)
221 イメージキャナ (● 読める ● 読けない)
222 制音装置 (● 壁掛形 ● 埋込形 ● 別置形)
223 呼出機能 (● 有 ● 無) 方式 (● 発光ダイオード ● 液晶 ●)
224 時計 (● 壁掛形 ● 埋込形 ● ラック形 ● 図録)
225 太陽電池式壁掛け時計 (点灯時間 h 点灯保証日数 日)
226 光出力 (● 1 形 ● 2 形 ● 3 形) 照度 (● A 形 ● B 形 ● C 形)
227 コントラスト比 (● X 形 ● Y 形)
228 イメージキャナ (● 読める ● 読けない)
229 制音装置 (● 壁掛形 ● 埋込形 ● 別置形)
230 呼出機能 (● 有 ● 無) 方式 (● 発光ダイオード ● 液晶 ●)
231 時計 (● 壁掛形 ● 埋込形 ● ラック形 ● 図録)
232 太陽電池式壁掛け時計 (点灯時間 h 点灯保証日数 日)
233 光出力 (● 1 形 ● 2 形 ● 3 形) 照度 (● A 形 ● B 形 ● C 形)
234 コントラスト比 (● X 形 ● Y 形)
235 イメージキャナ (● 読める ● 読けない)
236 制音装置 (● 壁掛形 ● 埋込形 ● 別置形)
237 呼出機能 (● 有 ● 無) 方式 (● 発光ダイオード ● 液晶 ●)
238 時計 (● 壁掛形 ● 埋込形 ● ラック形 ● 図録)
239 太陽電池式壁掛け時計 (点灯時間 h 点灯保証日数 日)
240 光出力 (● 1 形 ● 2 形 ● 3 形) 照度 (● A 形 ● B 形 ● C 形)
241 コントラスト比 (● X 形 ● Y 形)
242 イメージキャナ (● 読める ● 読けない)
243 制音装置 (● 壁掛形 ● 埋込形 ● 別置形)
244 呼出機能 (● 有 ● 無) 方式 (● 発光ダイオード ● 液晶 ●)
245 時計 (● 壁掛形 ● 埋込形 ● ラック形 ● 図録)
246 太陽電池式壁掛け時計 (点灯時間 h 点灯保証日数 日)
247 光出力 (● 1 形 ● 2 形 ● 3 形) 照度 (● A 形 ● B 形 ● C 形)
248 コントラスト比 (● X 形 ● Y 形)
249 イメージキャナ (● 読める ● 読けない)
250 制音装置 (● 壁掛形 ● 埋込形 ● 別置形)
251 呼出機能 (● 有 ● 無) 方式 (● 発光ダイオード ● 液晶 ●)
252 時計 (● 壁掛形 ● 埋込形 ● ラック形 ● 図録)
253 太陽電池式壁掛け時計 (点灯時間 h 点灯保証日数 日)
254 光出力 (● 1 形 ● 2 形 ● 3 形) 照度 (● A 形 ● B 形 ● C 形)
255 コントラスト比 (● X 形 ● Y 形)
256 イメージキャナ (● 読める ● 読けない)
257 制音装置 (● 壁掛形 ● 埋込形 ● 別置形)
258 呼出機能 (● 有 ● 無) 方式 (● 発光ダイオード ● 液晶 ●)
259 時計 (● 壁掛形 ● 埋込形 ● ラック形 ● 図録)
260 太陽電池式壁掛け時計 (点灯時間 h 点灯保証日数 日)
261 光出力 (● 1 形 ● 2 形 ● 3 形) 照度 (● A 形 ● B 形 ● C 形)
262 コントラスト比 (● X 形 ● Y 形)
263 イメージキャナ (● 読める ● 読けない)
264 制音装置 (● 壁掛形 ● 埋込形 ● 別置形)
265 呼出機能 (● 有 ● 無) 方式 (● 発光ダイオード ● 液晶 ●)
266 時計 (● 壁掛形 ● 埋込形 ● ラック形 ● 図録)
267 太陽電池式壁掛け時計 (点灯時間 h 点灯保証日数 日)
268 光出力 (● 1 形 ● 2 形 ● 3 形) 照度 (● A 形 ● B 形 ● C 形)
269 コントラスト比 (● X 形 ● Y 形)
270 イメージキャナ (● 読める ● 読けない)
271 制音装置 (● 壁掛形 ● 埋込形 ● 別置形)
272 呼出機能 (● 有 ● 無) 方式 (● 発光ダイオード ● 液晶 ●)
273 時計 (● 壁掛形 ● 埋込形 ● ラック形 ● 図録)
274 太陽電池式壁掛け時計 (点灯時間 h 点灯保証日数 日)
275 光出力 (● 1 形 ● 2 形 ● 3 形) 照度 (● A 形 ● B 形 ● C 形)
276 コントラスト比 (● X 形 ● Y 形)
277 イメージキャナ (● 読める ● 読けない)
278 制音装置 (● 壁掛形 ● 埋込形 ● 別置形)
279 呼出機能 (● 有 ● 無) 方式 (● 発光ダイオード ● 液晶 ●)
280 時計 (● 壁掛形 ● 埋込形 ● ラック形 ● 図録)
281 太陽電池式壁掛け時計 (点灯時間 h 点灯保証日数 日)
282 光出力 (● 1 形 ● 2 形 ● 3 形) 照度 (● A 形 ● B 形 ● C 形)
283 コントラスト比 (● X 形 ● Y 形)
284 イメージキャナ (● 読める ● 読けない)
285 制音装置 (● 壁掛形 ● 埋込形 ● 別置形)
286 呼出機能 (● 有 ● 無) 方式 (● 発光ダイオード ● 液晶 ●)
287 時計 (● 壁掛形 ● 埋込形 ● ラック形 ● 図録)
288 太陽電池式壁掛け時計 (点灯時間 h 点灯保証日数 日)
289 光出力 (● 1 形 ● 2 形 ● 3 形) 照度 (● A 形 ● B 形 ● C 形)
290 コントラスト比 (● X 形 ● Y 形)
291 イメージキャナ (● 読める ● 読けない)
292 制音装置 (● 壁掛形 ● 埋込形 ● 別置形)
293 呼出機能 (● 有 ● 無) 方式 (● 発光ダイオード ● 液晶 ●)
294 時計 (● 壁掛形 ● 埋込形 ● ラック形 ● 図録)
295 太陽電池式壁掛け時計 (点灯時間 h 点灯保証日数 日)
296 光出力 (● 1 形 ● 2 形 ● 3 形) 照度 (● A 形 ● B 形 ● C 形)
297 コントラスト比 (● X 形 ● Y 形)
298 イメージキャナ (● 読める ● 読けない)
299 制音装置 (● 壁掛形 ● 埋込形 ● 別置形)
300 呼出機能 (● 有 ● 無) 方式 (● 発光ダイオード ● 液晶 ●)
301 時計 (● 壁掛形 ● 埋込形 ● ラック形 ● 図録)
302 太陽電池式壁掛け時計 (点灯時間 h 点灯保証日数 日)
303 光出力 (● 1 形 ● 2 形 ● 3 形) 照度 (● A 形 ● B 形 ● C 形)
304 コントラスト比 (● X 形 ● Y 形)
305 イメージキャナ (● 読める ● 読けない)
306 制音装置 (● 壁掛形 ● 埋込形 ● 別置形)
307 呼出機能 (● 有 ● 無) 方式 (● 発光ダイオード ● 液晶 ●)
308 時計 (● 壁掛形 ● 埋込形 ● ラック形 ● 図録)
309 太陽電池式壁掛け時計 (点灯時間 h 点灯保証日数 日)
310 光出力 (● 1 形 ● 2 形 ● 3 形) 照度 (● A 形 ● B 形 ● C 形)
311 コントラスト比 (● X 形 ● Y 形)
312 イメージキャナ (● 読める ● 読けない)
313 制音装置 (● 壁掛形 ● 埋込形 ● 別置形)
314 呼出機能 (● 有 ● 無) 方式 (● 発光ダイオード ● 液晶 ●)
315 時計 (● 壁掛形 ● 埋込形 ● ラック形 ● 図録)
316 太陽電池式壁掛け時計 (点灯時間 h 点灯保証日数 日)
317 光出力 (● 1 形 ● 2 形 ● 3 形) 照度 (● A 形 ● B 形 ● C 形)
318 コントラスト比 (● X 形 ● Y 形)
319 イメージキャナ (● 読める ● 読けない)
320 制音装置 (● 壁掛形 ● 埋込形 ● 別置形)
321 呼出機能 (● 有 ● 無) 方式 (● 発光ダイオード ● 液晶 ●)
322 時計 (● 壁掛形 ● 埋込形 ● ラック形 ● 図録)
323 太陽電池式壁掛け時計 (点灯時間 h 点灯保証日数 日)
324 光出力 (● 1 形 ● 2 形 ● 3 形) 照度 (● A 形 ● B 形 ● C 形)
325 コントラスト比 (● X 形 ● Y 形)
326 イメージキャナ (● 読める ● 読けない)
327 制音装置 (● 壁掛形 ● 埋込形 ● 別置形)
328 呼出機能 (● 有 ● 無) 方式 (● 発光ダイオード ● 液晶 ●)
329 時計 (● 壁掛形 ● 埋込形 ● ラック形 ● 図録)
330 太陽電池式壁掛け時計 (点灯時間 h 点灯保証日数 日)
331 光出力 (● 1 形 ● 2 形 ● 3 形) 照度 (● A 形 ● B 形 ● C 形)
332 コントラスト比 (● X 形 ● Y 形)
333 イメージキャナ (● 読める ● 読けない)
334 制音装置 (● 壁掛形 ● 埋込形 ● 別置形)
335 呼出機能 (● 有 ● 無) 方式 (● 発光ダイオード ● 液晶 ●)
336 時計 (● 壁掛形 ● 埋込形 ● ラック形 ● 図録)
337 太陽電池式壁掛け時計 (点灯時間 h 点灯保証日数 日)
338 光出力 (● 1 形 ● 2 形 ● 3 形) 照度 (● A 形 ● B 形 ● C 形)
339 コントラスト比 (● X 形 ● Y 形)
340 イメージキャナ (● 読める ● 読けない)
341 制音装置 (● 壁掛形 ● 埋込形 ● 別置形)
342 呼出機能 (● 有 ● 無) 方式 (● 発光ダイオード ● 液晶 ●)
343 時計 (● 壁掛形 ● 埋込形 ● ラック形 ● 図録)
344 太陽電池式壁掛け時計 (点灯時間 h 点灯保証日数 日)
345 光出力 (● 1 形 ● 2 形 ● 3 形) 照度 (● A 形 ● B 形 ● C 形)
346 コントラスト比 (● X 形 ● Y 形)
347 イメージキャナ (● 読める ● 読けない)
348 制音装置 (● 壁掛形 ● 埋込形 ● 別置形)
349 呼出機能 (● 有 ● 無) 方式 (● 発光ダイオード ● 液晶 ●)
350 時計 (● 壁掛形 ● 埋込形 ● ラック形 ● 図録)
351 太陽電池式壁掛け時計 (点灯時間 h 点灯保証日数 日)
352 光出力 (● 1 形 ● 2 形 ● 3 形) 照度 (● A 形 ● B 形 ● C 形)
353 コントラスト比 (● X 形 ● Y 形)
354 イメージキャナ (● 読める ● 読けない)
355 制音装置 (● 壁掛形 ● 埋込形 ● 別置形)
356 呼出機能 (● 有 ● 無) 方式 (● 発光ダイオード ● 液晶 ●)
357 時計 (● 壁掛形 ● 埋込形 ● ラック形 ● 図録)
358 太陽電池式壁掛け時計 (点灯時間 h 点灯保証日数 日)
359 光出力 (● 1 形 ● 2 形 ● 3 形) 照度 (● A 形 ● B 形 ● C 形)
360 コントラスト比 (● X 形 ● Y 形)
361 イメージキャナ (● 読める ● 読けない)
362 制音装置 (● 壁掛形 ● 埋込形 ● 別置形)
363 呼出機能 (● 有 ● 無) 方式 (● 発光ダイオード ● 液晶 ●)
364 時計 (● 壁掛形 ● 埋込形 ● ラック形 ● 図録)
365 太陽電池式壁掛け時計 (点灯時間 h 点灯保証日数 日)
366 光出力 (● 1 形 ● 2 形 ● 3 形) 照度 (● A 形 ● B 形 ● C 形)
367 コントラスト比 (● X 形 ● Y 形)
368 イメージキャナ (● 読める ● 読けない)
369 制音装置 (● 壁掛形 ● 埋込形 ● 別置形)
370 呼出機能 (● 有 ● 無) 方式 (● 発光ダイオード ● 液晶 ●)
371 時計 (● 壁掛形 ● 埋込形 ● ラック形 ● 図録)
372 太陽電池式壁掛け時計 (点灯時間 h 点灯保証日数 日)
373 光出力 (● 1 形 ● 2 形 ● 3 形) 照度 (● A 形 ● B 形 ● C 形)
374 コントラスト比 (● X 形 ● Y 形)
375 イメージキャナ (● 読める ● 読けない)
376 制音装置 (● 壁掛形 ● 埋込形 ● 別置形)
377 呼出機能 (● 有 ● 無) 方式 (● 発光ダイオード ● 液晶 ●)
378 時計 (● 壁掛形 ● 埋込形 ● ラック形 ● 図録)
379 太陽電池式壁掛け時計 (点灯時間 h 点灯保証日数 日)
380 光出力 (● 1 形 ● 2 形 ● 3 形) 照度 (● A 形 ● B 形 ● C 形)
381 コントラスト比 (● X 形 ● Y 形)
382 イメージキャナ (● 読める ● 読けない)
383 制音装置 (● 壁掛形 ● 埋込形 ● 別置形)
384 呼出機能 (● 有 ● 無) 方式 (● 発光ダイオード ● 液晶 ●)
385 時計 (● 壁掛形 ● 埋込形 ● ラック形 ● 図録)
386 太陽電池式壁掛け時計 (点灯時間 h 点灯保証日数 日)
387 光出力 (● 1 形 ● 2 形 ● 3 形) 照度 (● A 形 ● B



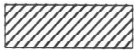
付近見取図 NoScale

工事概要

- 下記に記載の棟について既設照明器具をLED照明器具に更新する
 - ・情報メディアセンター
 - ・~~学生センター棟~~
 - ・~~クラブハウスA・B・C~~
- 1に伴う配管配線更新その他付随する工事



配置図 S=1/1500

 : 対象箇所

受付
24. 8. - 8
公立鳥取環境大学

Living Environment Technology				CHECK	DRAW	TITLE	DATE	NO.
株式会社 LET						情報メディアセンターほかLED照明器具更新工事	2024. 08	03
一級建築士事務所 鳥取県知事登録 第04-1348号 管理建築士 森本博実 一級建築士登録 第103826号 建築設備士 強津貴文 建築設備士登録 第24F1-0044N0号						NAME 配置図、付近見取図	SCALE 1/1500 (A2) 1/2113 (A3)	E 18

部屋毎の改修内容（概略）

照明器具の更新
+照度付け追加

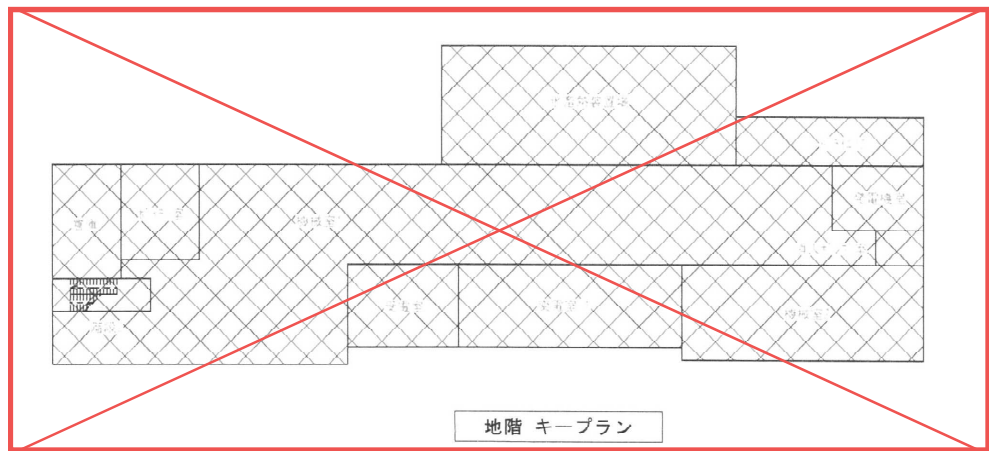
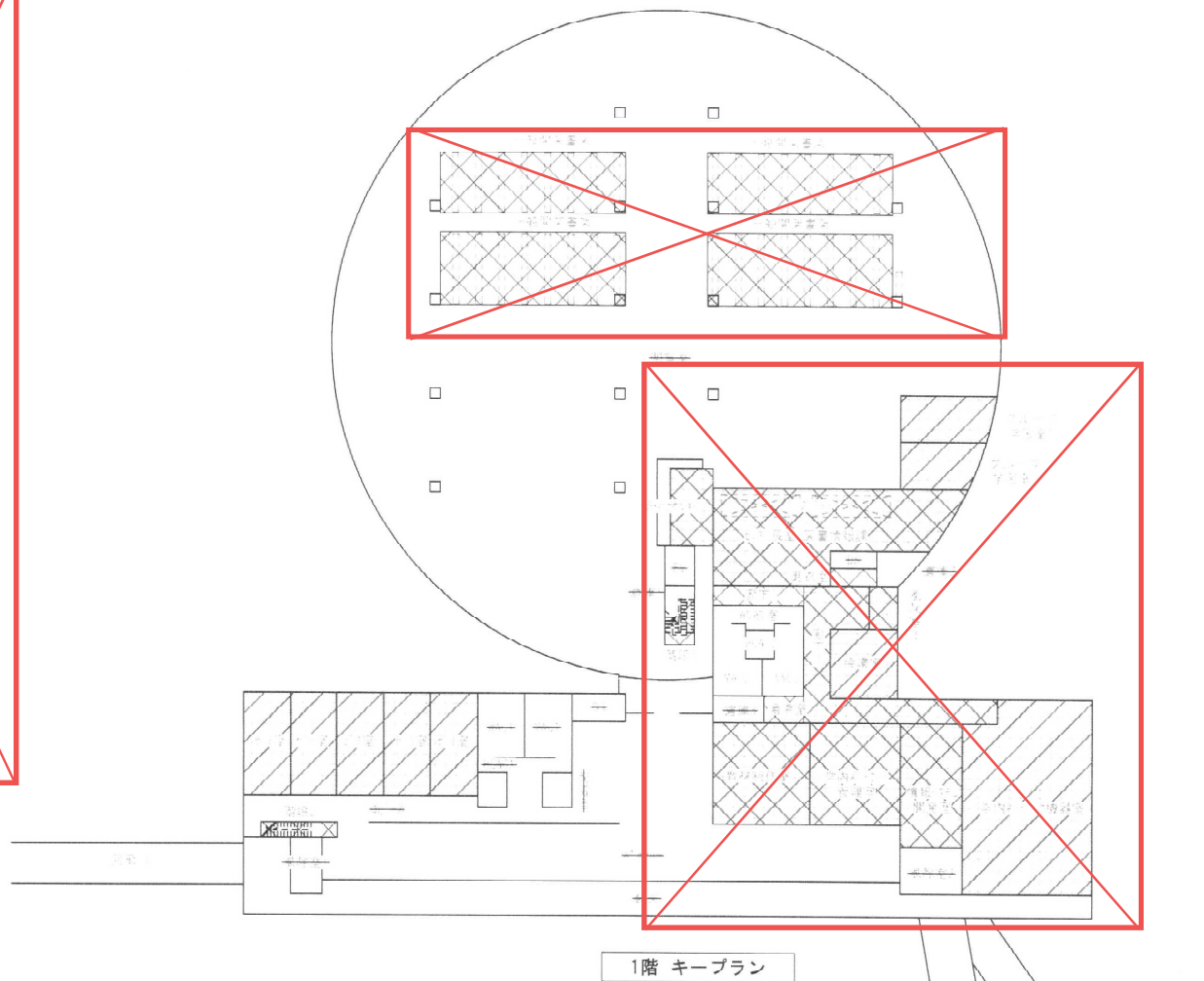
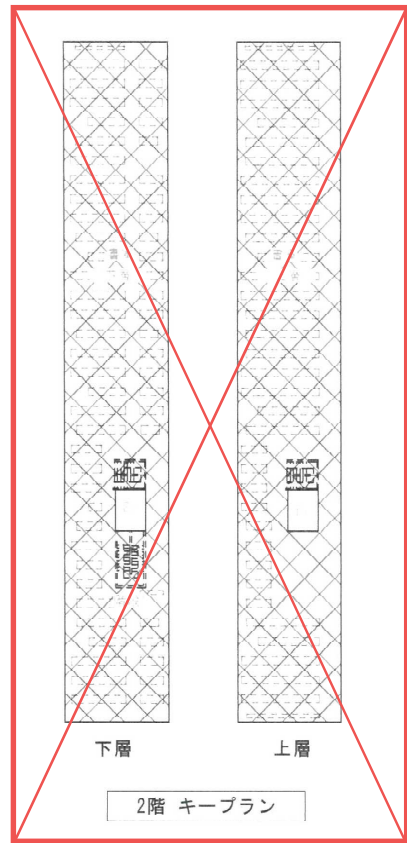
照明器具の更新
+人感センサー追加

照明器具の更新のみ

照明器具（照度センサー付）の更新

照明器具（人感センサー付）の更新

工事対象外



照明制御方式一覧

	改修前	改修後
地階	全て	人感センサー※照明器具内蔵
1階	同窓-3	人感センサー※照明器具内蔵
	階段2	人感センサー※照明器具内蔵
	ギャラリー	人感センサー※照明器具内蔵
	同窓-4	人感センサー※照明器具内蔵
	軒天	人感センサー※照明器具内蔵
	ゼミ室	照度センサー
	HWC1	人感センサー
	情報システム開発室	人感センサー
	学内ネットワーク機器室	照度センサー
	学内ネットワーク管理室	人感センサー
	教材制作室	人感センサー
	廊下1	人感センサー
	通廊室	人感センサー※照明器具内蔵
	会議室	照度センサー
	風除室3	人感センサー
	廊下2	人感センサー※照明器具内蔵
	センター長室・図書情報課	人感センサー
	更衣室	人感センサー※照明器具内蔵
	グループ学習室	照度センサー
	WC前室	人感センサー
	WMC2・HWC2・WMC2	人感センサー
	階段1	人感センサー※照明器具内蔵
	受付カウンター	人感センサー
	図書館内柱	人感センサー※照明器具内蔵
	階段1	人感センサー※照明器具内蔵
	書庫（下層）	人感センサー※照明器具内蔵
	書庫（上層）通路	人感センサー※照明器具内蔵
	書庫（上層）運動書架	人感センサー※照明器具内蔵

受付

24.8.-8

公立鳥取環境大学

Living Environment Technology

株式会社 LET

一級建築士事務所 鳥取県知事登録 第04-1348号
管理建築士 森本博美 一級建築士登録 第103826号
建築設備士 西澤貴文 建築設備士登録 第24F1-0044NO号

CHECK



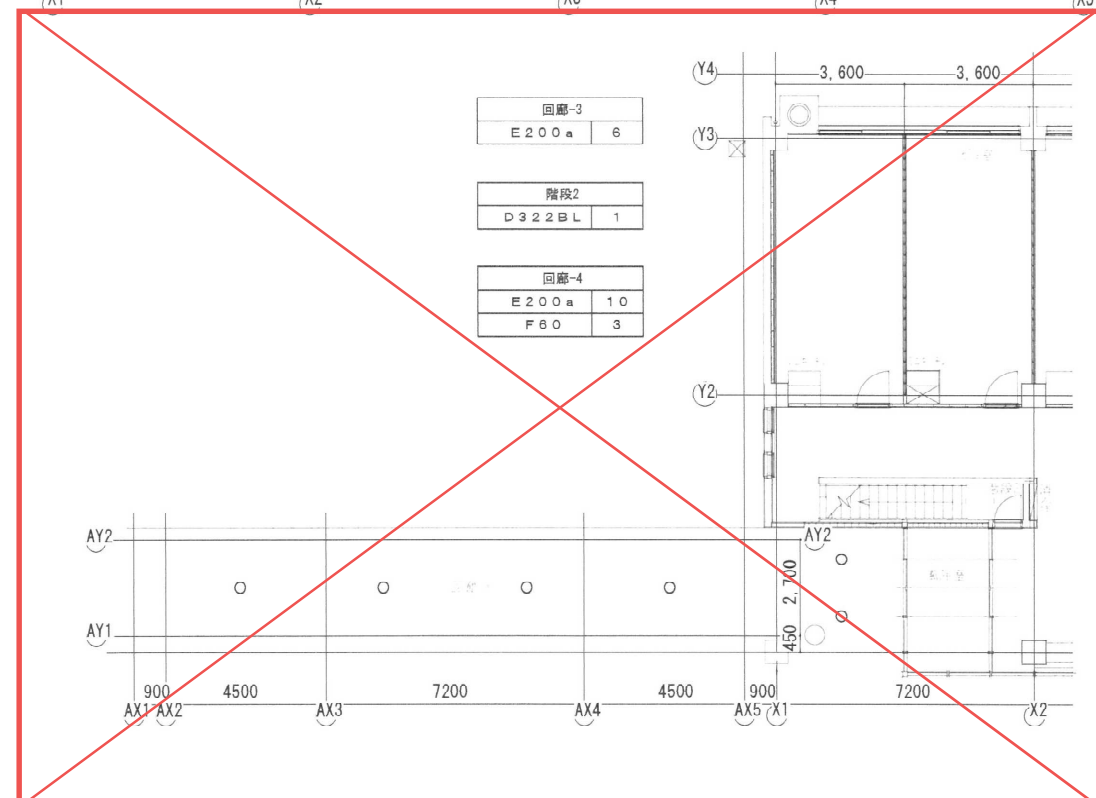
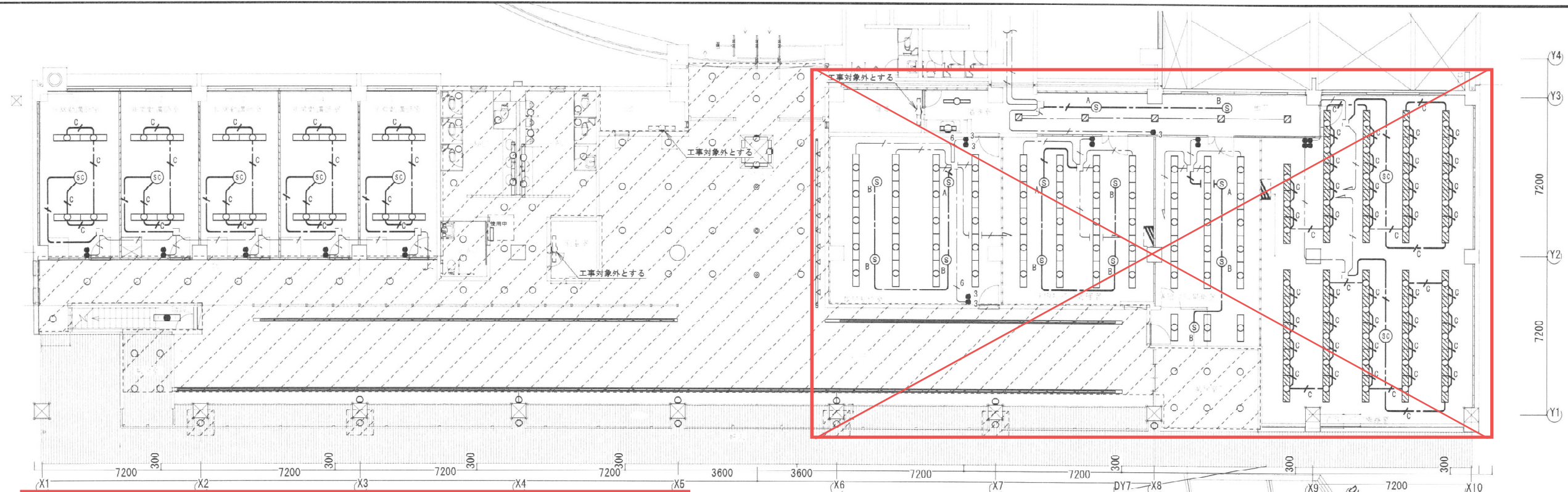
DRAW



TITLE 情報メディアセンターほかLED照明器具更新工事
NAME 照明制御方式一覧（情報メディアセンター）

DATE 2024.08
SCALE - (A2)
- (A3)

NO. 04
E 18



軒天	E200b	3
----	-------	---

5101 非常動講義室	B322	4
5102 非常動講義室	B322	4
5103 非常動講義室	B322	4
5104 非常動講義室	B322	4
5105 非常動講義室	B322	4

HC-WG1	換用中灯	1
照明器具	F60	5

情報メディア開発室	A321	18
-----------	------	----

学内ネットワーク機器室	B322	48
学内ネットワーク管理室 (OA707)	A321	20
教材制作室 (OA707)	A321	20

廊下1	B233	5
-----	------	---

湯沸室	C321b	1
	C201	1

注 記		
1. 既存建物を十分確認の上、施工のこと。		
2. 図中、太線で示す配管配線・設備は新設すること。		
3. 図中、細線で示す配管配線・設備は既設を示す。		
4. 図中、明示なき配管配線は下記による。		
---	EM-EFFL 0-30	天井内 新設
---	EM-EFFL 0-30	天井内 新設
---	EM-FUPES11 0-20	天井内 新設
---	EFFL 0-30	天井内 既設のまま
---	EFFL 0-30	天井内 既設のまま
5. 天井内配管は天井点検口及び「ア」の埋込開口等取り外しの上、敷設を行うこと。		
6. 下記に示す室については脚立足場を用い安全に作業を行うこと。		
また既存床面を損傷しないよう適切な養生を行うこと。		
地下階書庫 約30㎡ (R=3.500程度)		

凡 例		
記 号	名 称	摘 要
	既設分電盤	
	埋込スイッチ	1P15A 1ヶ付
	人感センサー 機器 (微動検知形)	天井埋込 8A 広角検知
	人感センサー 子器 (微動検知形)	天井埋込
	センサー付自動調光ユニット	埋込形 姿因参照 参考品番:FSK907212
	フлуorescent 灯	中四角D44
	既設フлуorescent 灯	
	埋込スイッチ	3W15A
	埋込スイッチ	1P15A
	既設センサー	
	既設人感センサー	
※図中、明示なきシグナルは標準図による。		

照明器具 参考姿図

B322	LED埋込型40形 5200lm4ヶ付	新設
	埋込HF32W×2 (埋込220×1235)	撤去

一般4ヶ付、電圧100~242V、下面開放型
消費電力43.1W、約5~100%連続調光型
本体:亜鉛鋼板
反射板:鋼板 (高反射白色粉体塗装)
ガラス (3ヶ付):乳白、乳白、乳白 (乳白)
昼白色 (5000K)、Ra83

情報メディアセンター棟 1階 平面図 (2) S=1/150



受付
24.8.-8
公立鳥取環境大学

部屋毎の改修内容（概略）

- 

照明器具の更新
+照度向上追加
- 

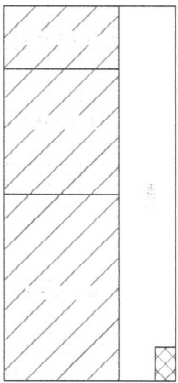
照明器具（照度向上付）の更新
- 

照明器具の更新
+人感センサー追加
- 

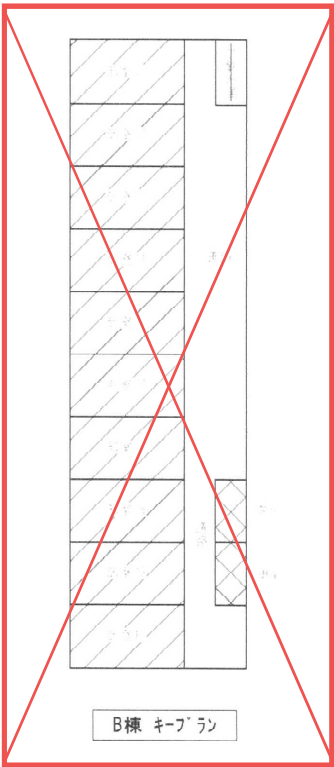
照明器具（人感センサー付）の更新
- 

照明器具の更新のみ
- 

工事対象外



A棟 キーフラン



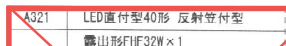
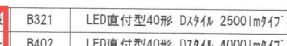
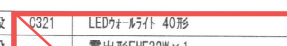
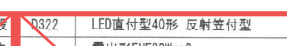
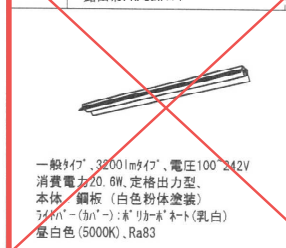
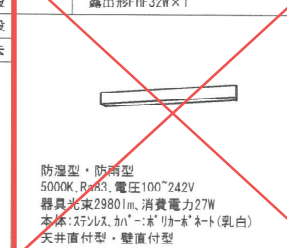
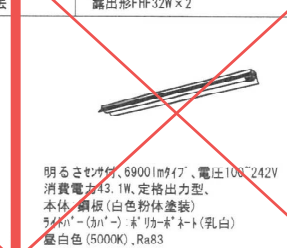
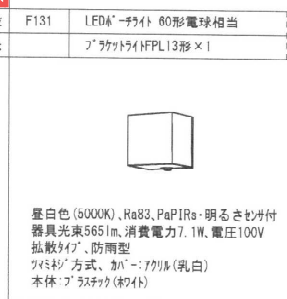
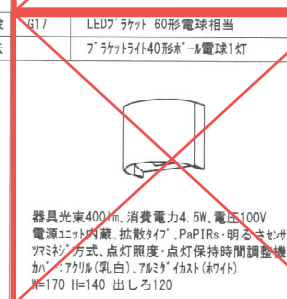
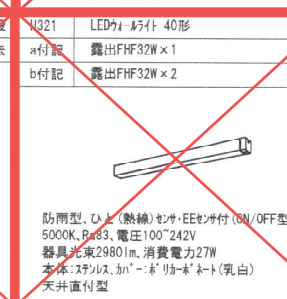
B棟 キーフラン

照明制御方式一覧

		改修前	改修後
A棟	通路	自動点滅器 (スケジュール制御)	自動点滅器 (スケジュール制御)
	水飲み場	ボタンスイッチ (手動)	人感センサー照明器具内蔵 (在/不在調光制御)
	ミーティングルーム	ボタンスイッチ (手動)	照度センサー (一定照度制御)
B棟	通路	自動点滅器 (スケジュール制御)	自動点滅器 (スケジュール制御)
	便所	ボタンスイッチ (手動)	人感センサー照明器具内蔵 (在/不在調光制御)
	部室	ボタンスイッチ (手動)	照度センサー照明器具内蔵 (一定照度制御)
C棟	通路	タイマー (スケジュール制御)	タイマー (スケジュール制御)
	部室	ボタンスイッチ (手動)	照度センサー照明器具内蔵 (一定照度制御)
	シャワー室	ボタンスイッチ (手動)	人感センサー照明器具内蔵 (在/不在調光制御)
	洗濯室	ボタンスイッチ (手動)	人感センサー照明器具内蔵 (在/不在調光制御)
	女子便所	ボタンスイッチ (手動)	人感センサー (在/不在調光制御)
	男子便所	ボタンスイッチ (手動)	人感センサー (在/不在調光制御)
	階段	ボタンスイッチ (手動)	人感センサー (在/不在調光制御)

照明器具 参考姿図

1. 図中、形状・仕様等は参考とする。
2. 消費電力はJIS C 8105-3による。

 B321 LED直付型40形 反射笠付型 新設 露出形FH32W×1 撤去	 B402 LED直付型40形 反射笠付型 新設 露出形FH32W×1 撤去	 B322 LED直付型40形 反射笠付型 新設 露出形FH32W×2 撤去	 B323 LED直付型40形 反射笠付型 新設 露出形FH32W×2 撤去
 一般タイプ、3000lmタイプ、電圧100V/242V 消費電力20.6W、定格出力型、 本体：鋼板（白色粉体塗装） カバー：（カバー）：樹脂（乳白） （乳白）（5000K）、Ra83	 一般タイプ、電圧100V/242V 消費電力11.6W、約5%連続調光型 本体：鋼板（白色粉体塗装） カバー：（カバー）：樹脂（乳白） （乳白）（5000K）、Ra83	 防湿型・防雨型 5000K、Ra83、電圧100V/242V 器具光束2980lm、消費電力27W 本体：ステンレス、カバー：樹脂（乳白） 天井直付型・壁直付型	 明るさセンサー付、6900lmタイプ、電圧100V/242V 消費電力43.1W、定格出力型、 本体：鋼板（白色粉体塗装） カバー：（カバー）：樹脂（乳白） （乳白）（5000K）、Ra83
 LED型ライト 60形電球相当 新設 ブラケットタイプFPL13形×1 撤去	 LED型ライト 60形電球相当 新設 ブラケットタイプFPL13形×1 撤去	 LED型ライト 60形電球相当 新設 ブラケットタイプ40形×1 電球1灯 撤去	 LED型ライト 40形 新設 ブラケットタイプ40形×1 電球1灯 撤去

受付

24. 8. - 8

公立鳥取環境大学

Living Environment Technology

株式会社 LET
一級建築士事務所／建築設備設計事務所

一級建築士事務所 鳥取県知事登録 第04-1348号
管理建築士 森本博英 一級建築士登録 第103826号
建築設備士 池津貴文 建築設備士登録 第24F1-0044N0号

CHECK

池津

DRAW

川合

TITLE 情報メディアセンターほかLED照明器具更新工事
NAME 照明器具参考姿図、照明制御方式一覧（クラブハウス）

DATE 2024. 08
SCALE - (A2)
- (A3)

NO. 17
E 18

注 記

- 既存建物を十分確認の上、施工のこと。
 - 図中、太線で示す配管配線・シボムを新設すること。
 - 図中、細線で示す配管配線・シボムは既設を示す。
 - 図中、指示なき配管配線は下記による。
- | | | |
|-----------------------|-----|-------|
| EM-EFF2.0-3C | 大井内 | 新設 |
| EM-FCPEES1.2-2C | 大井内 | 新設 |
| EM-EFF2.0-2C (MM1-A) | 露出 | 新設 |
| EM-EFF2.0-3C (MM1-A) | 露出 | 新設 |
| EEF2.0-3C | 天井内 | 既設のまま |
| EEF2.0-3C | 隠ぺい | 既設のまま |
| IE2.0×2, IE2.0 (PF22) | 隠ぺい | 既設のまま |
| IE2.0×4 (PF22) | 隠ぺい | 既設のまま |
5. 天井内配線は天井点検口及び「ブ」アトーン埋込照明等取り外しの上、敷設を行うこと。

凡 例

記 号	名 称	摘 要
SC	既設分電盤	
SC	センサ付自動調光ユニット	埋込形 資図参照 参考品番 FSK9072IZ
RAS	熱線センサ付自動スイッチ	新設 壁取付 資図参照 参考品番 WTK1811WK
	既設スイッチ	撤去 3W15A×1
SA	人感センサ 観音	天井埋込 8A 広角検知 露出取付が共
SB	人感センサ 子器	天井埋込 露出取付が共
	既設アクトリットボックス	

※図中、指示なき記号は標準図による。

器具 参考資図

SC

センサ付自動調光ユニット

埋込形

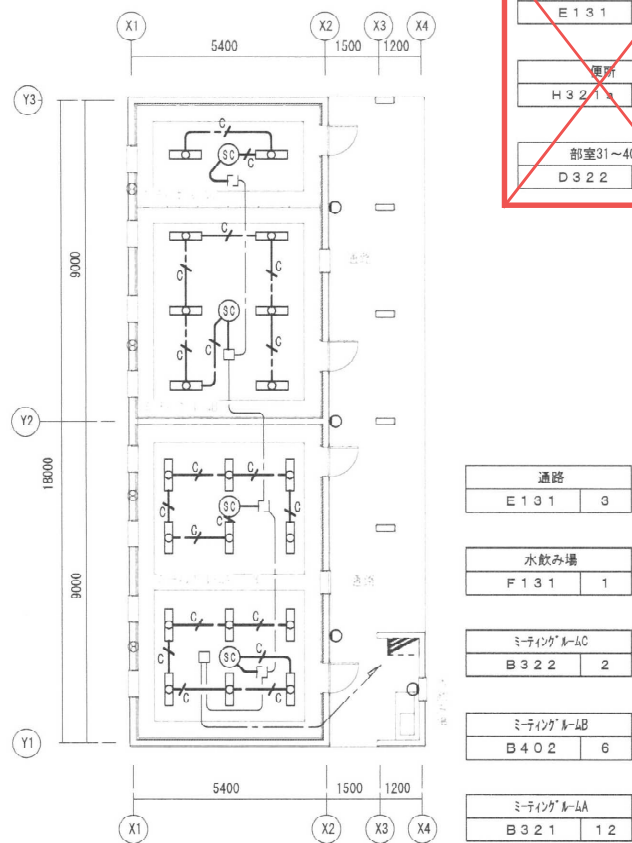
制御安定器台数: 36台以下
明るさセンサー(連続調光)
ボルトフリー(100V/242V)
埋込穴φ100 埋込高H=104

RAS

壁取付 熱線センサ付自動スイッチ

2線式・3路配線対応形

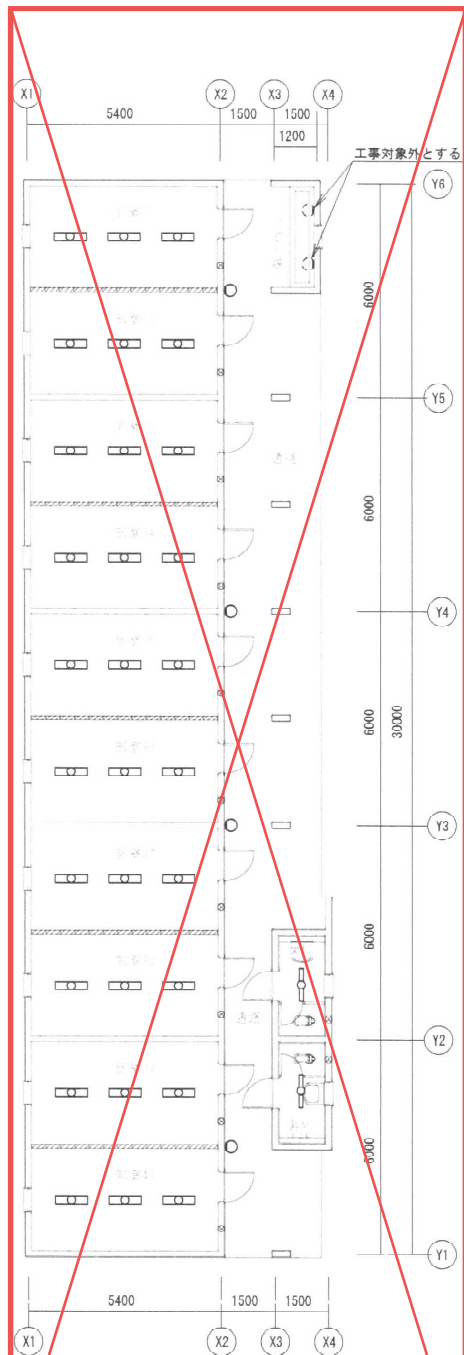
LED専用
検知後連続動作時間約10秒~30分可変形
明るさセンサー・手動スイッチ付



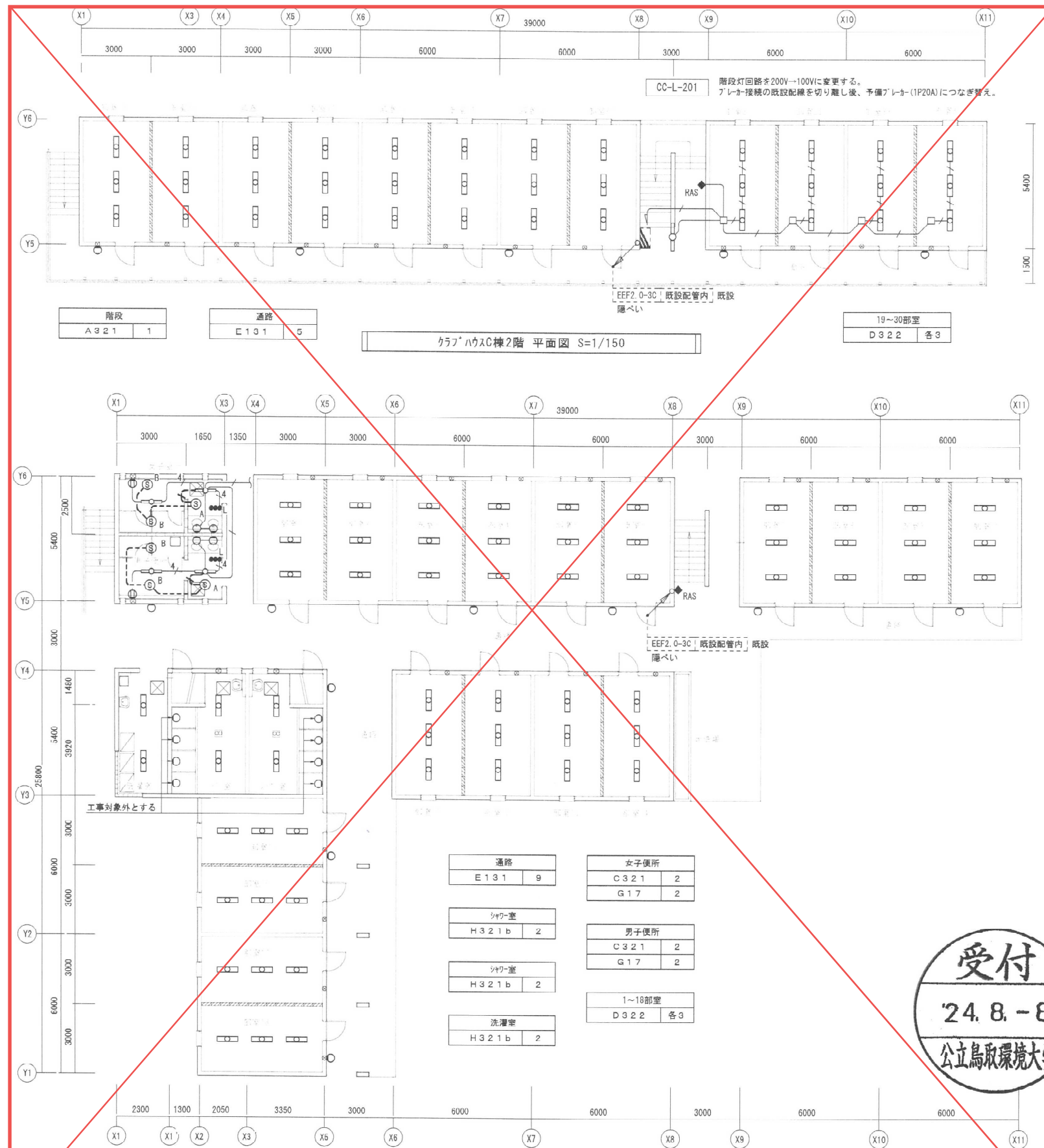
クラブハウスA棟 平面図 S=1/150

通路
E 1 3 1
便所
H 3 2 1 a 2
部屋31~40
D 3 2 2 各3

通路
E 1 3 1 3
水飲み場
F 1 3 1 1
ミーティングルームC
B 3 2 2 2
ミーティングルームB
B 4 0 2 6
ミーティングルームA
B 3 2 1 1 2



クラブハウスB棟 平面図 S=1/150



クラブハウスC棟 平面図 S=1/150

受付

24. 8. - 8

公立鳥取環境大学

Living Environment Technology

株式会社 LET

一級建築士事務所 / 建築設備設計事務所

一級建築士事務所 鳥取県知事登録 第04-1348号
管理建築士 森本博美 第103826号
建築設備士 悠津貴文 第24F1-0044NO号

CHECK



DRAW



TITLE 情報メディアセンターほかLED照明器具更新工事

NAME 平面図 (クラブハウス)

DATE 2024. 08

SCALE 1/150 (A2)
1/212 (A3)

NO.

E 18

18